

議題（４）

市が運行する公共交通の利用状況分析について

令和７年８月

久 喜 市

目次

1. 公共交通網の運行状況.....	1
(1) 公共交通網	1
(2) コミュニティバス(市内循環バス)	3
1) 全系統	3
2) 系統別	4
(3) デマンド交通(くきまる)	11
(4) くきふれあいタクシー(補助タク)	12
2. 交通モード別利用状況	13
(1) コミュニティバス(市内循環バス)の利用状況	13
1) 系統別利用状況	13
2) バス停別利用状況調査と結果	14
(2) デマンド交通(くきまる)の利用状況	24
(3) くきふれあいタクシー(補助タク)の利用状況	28
3. 現状分析	29
(1) 公共交通圏域(デマンド交通(くきまる)を除く)と人口分布による分析	29
(2) アクセシビリティ確保における分析	31
(3) 利用状況からの分析	32
(4) 路線分析	33
1) 路線バスとの競合	33
2) コミュニティバス(市内循環バス)の運行経路分析	34
(5) 事業分析	35
1) コミュニティバス(市内循環バス)の収支状況	35
2) 運行主体の事業状況	36
(6) その他	36

Ⅰ．公共交通網の運行状況

（Ⅰ）公共交通網

市内の鉄道駅は、ＪＲ宇都宮線と東武伊勢崎線が乗り入れる久喜駅、ＪＲ宇都宮線の東鷲宮駅、ＪＲ宇都宮線と東武日光線が乗り入れる栗橋駅、東武伊勢崎線の鷲宮駅及び東武日光線の南栗橋駅の３路線、５駅がある。

市内の民間路線バスは、現在３事業者が運行している。朝日自動車株式会社は、３つの営業所で２５系統のバス路線を運行しており、久喜駅西口から菖蒲地区方面、久喜駅東口から青葉団地方面、東鷲宮駅西口から鷲宮駅東口を經由して加須市方面を結んでいる。菖蒲地区では、白岡駅、蓮田駅、桶川駅方面を結ぶ路線を運行している。中田商会株式会社は、東鷲宮駅西口とアリオ鷲宮イトーヨーカドーを結ぶ１系統を運行しており、大和観光自動車株式会社は、久喜駅西口と久喜・菖蒲工業団地、清久工業団地、アリオ鷲宮イトーヨーカドーなどを結ぶ路線、７系統を運行している。

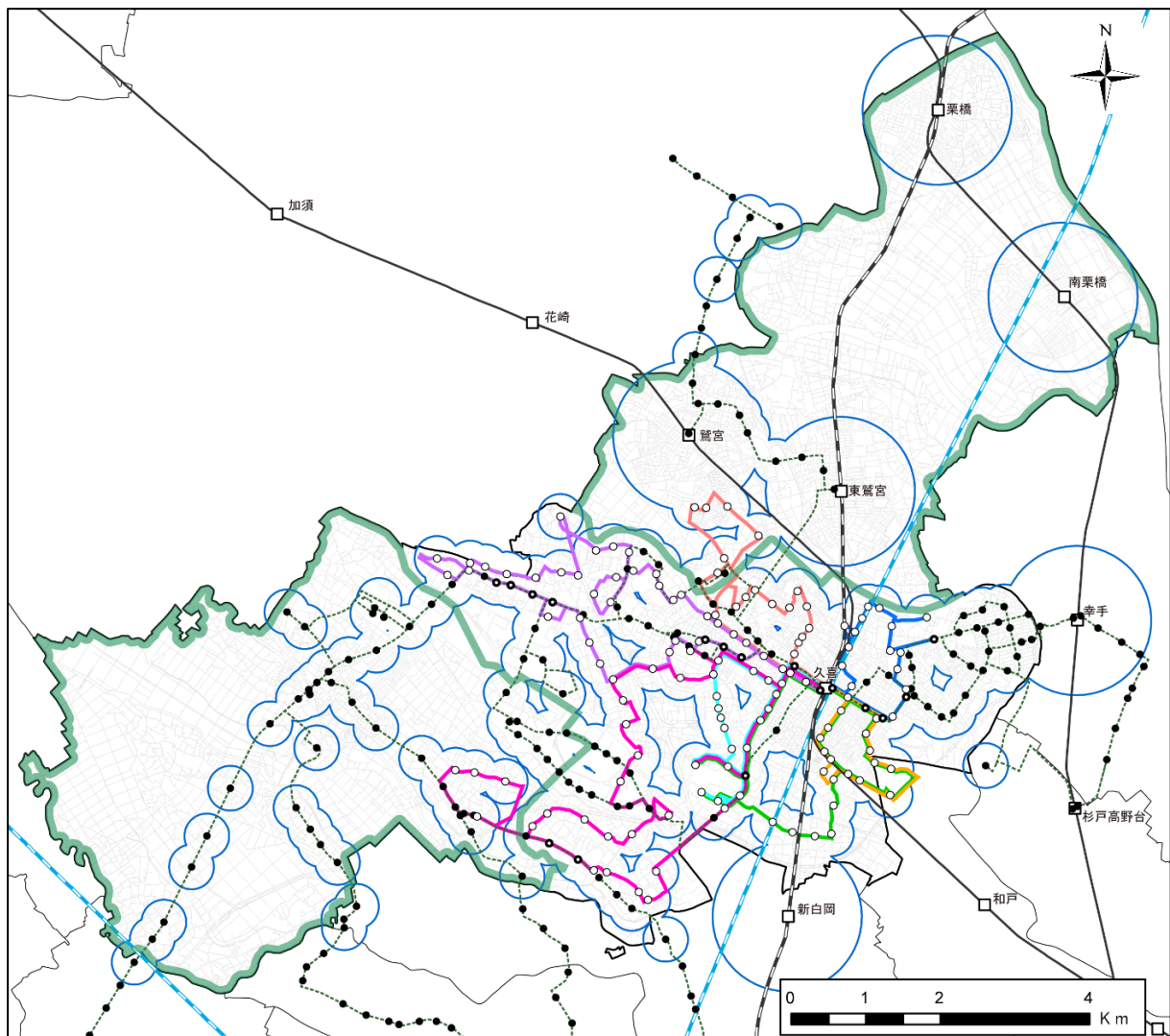
コミュニティバス（市内循環バス）は、久喜地区、菖蒲地区及び鷲宮地区の一部を運行しており、１日７系統６６便で運行している。運行は、月曜日から土曜日の７時台から１９時台で、利用料金は１回２００円、障がい者や妊産婦等は無料、小学生は半額で利用できる。

デマンド交通（くきまる）は、市内在住・在勤・在学者を対象に菖蒲地区（新久喜総合病院含む）、栗橋・鷲宮地区で運行している。乗降ポイントは、自宅及び公共施設など（４４箇所）であり、月曜日から土曜日の７時から１８時まで運行している。利用料金は１回５００円（新久喜総合病院へは１回８００円）、８０歳以上の高齢者や障がい者、妊産婦等は半額、未就学児は無料で利用できる。

くきふれあいタクシー（補助タク）は、市内から市内、市内から市外、市外から市内を運行区域としている。月曜日から土曜日までの９時から１７時まで運行しており、乗降箇所の設定は無く、市に事前に利用登録を行い、利用する直前にタクシー事業者で電話で申し込む仕組みとなっている。利用料金は、利用したタクシー料金に応じた利用者負担額を設定している。

※路線：交通機関の始点から目的地点に至る道筋

系統：路線における具体的なルート、運行パターン



凡例	
— 鉄道 (JR)	コミュニティバス (市内循環バス)
— 鉄道 (東武線)	東西連絡
- - - 新幹線	野久喜・吉羽循環 野久喜経由・ふれあいセンター行き 吉羽経由・久喜駅東口行き
- - - 路線バス	久喜本循環
● 路線バス バス停	下早見循環
○ 市内循環バス バス停	六万部・北中曽根循環
● 路線バス・市内循環バス重複バス停	除堀・所久喜循環 久喜駅西口発市役所行き 市役所発久喜駅西口行き
■ デマンド交通 (くきまる) 運行エリア	東循環
○ 公共交通圏域	
鉄道 (半径 1,000m 圏)	
路線バス (半径 300m 圏)	
市内循環バス (半径 300m 圏)	

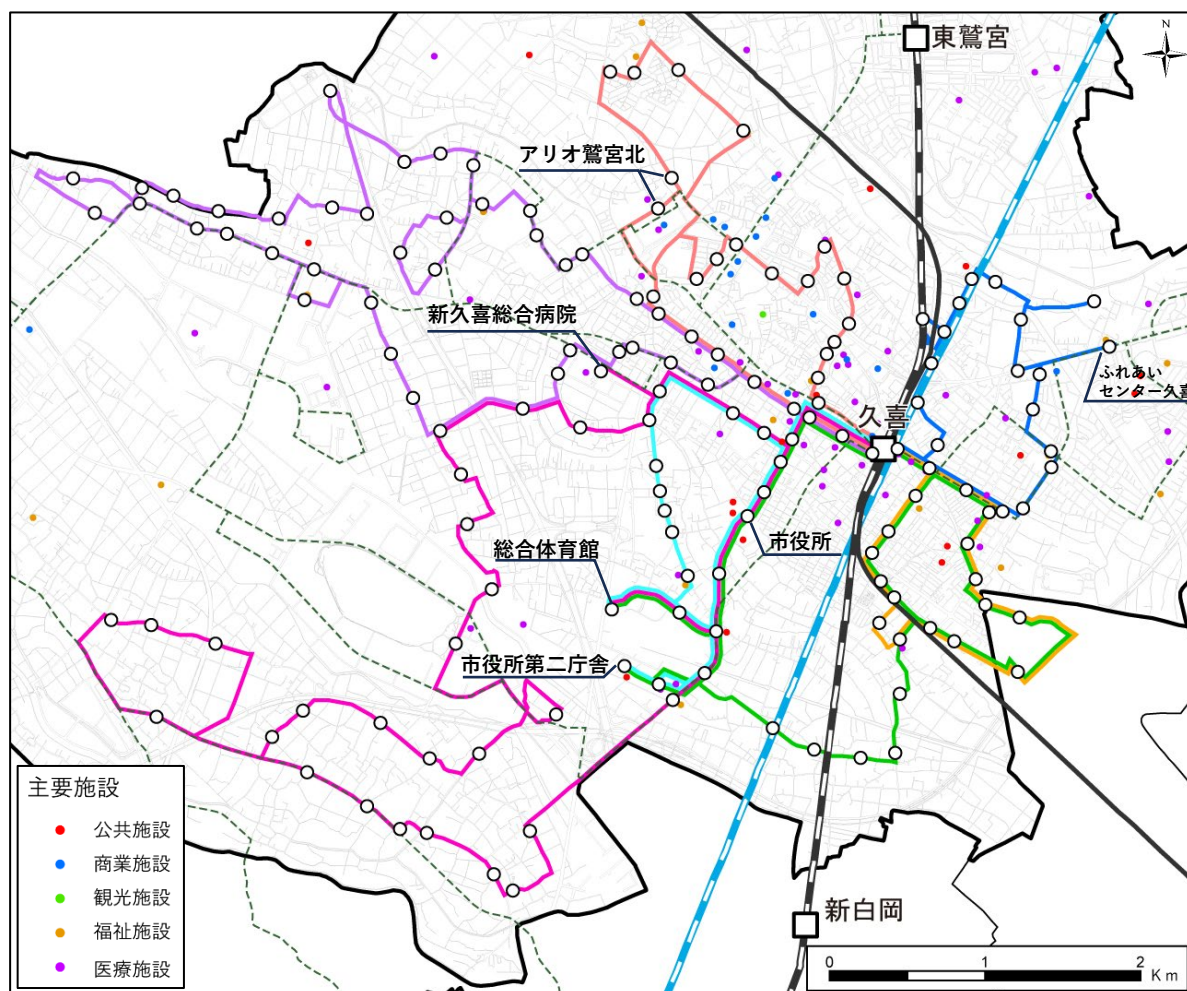
※公共交通圏域：鉄道駅から半径 1,000m、バス停から半径 300m を公共交通が徒歩で利用できる圏域とし、ここでは鉄道、路線バス、コミュニティバス (市内循環バス) 圏域を指す。

図－１ 市内の公共交通網

(2) コミュニティバス（市内循環バス）

1) 全系統

本市が運行するコミュニティバス（市内循環バス）は、久喜地区を中心として菖蒲地区及び鷺宮地区の一部を運行している。運行系統は7系統であり、1日66便の運行である。



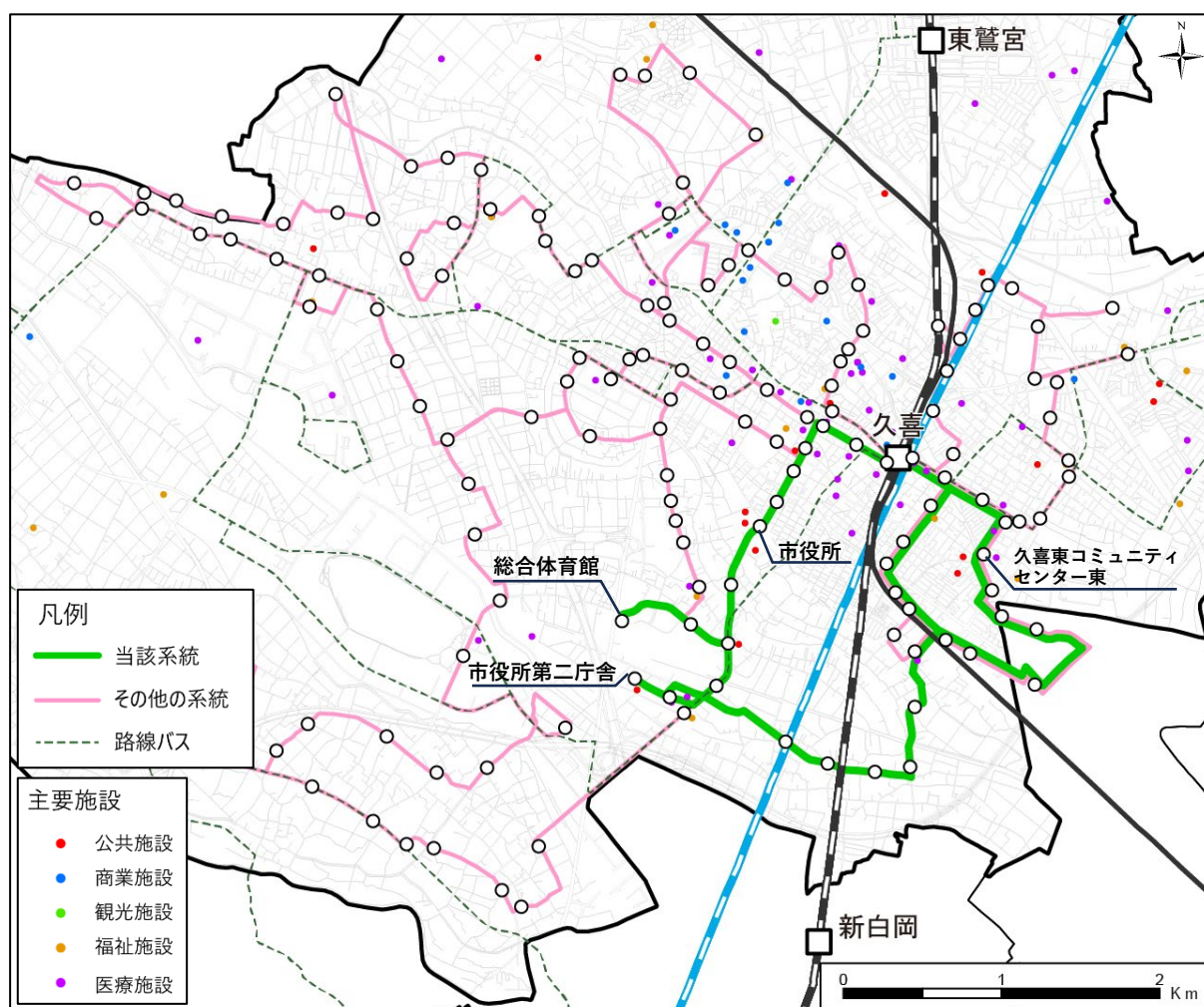
凡例		系統名	方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)	
東西連絡		東西連絡	東行き	8:05～17:47	5便	32	
野久喜・吉羽循環 野久喜經由・ふれあいセンター行き 吉羽經由・久喜駅東口行き			西行き	9:15～19:08	6便	28	
久喜本循環		野久喜・吉羽循環		一方行	8:40～17:25	9便 ふれあいセンター2便 駅東口2便	
下早見循環		久喜本循環	右回り 左回り	双方向	7:30～14:55	4便	35
六万部・北中曽根循環				双方向	15:10～20:05	5便	35
除堀・所久喜循環 久喜駅西口発市役所行き 市役所発久喜駅西口行き		下早見循環	右回り 左回り	双方向	7:20～14:40	4便	25
東循環				双方向	16:25～19:50	3便	25
路線バス		六万部・北中曽根循環		一方行	8:20～18:48	5便	57
		除堀・所久喜循環		一方行	7:25～19:47	市役所発着6便 駅西口→市役所2便 市役所→駅西口1便	85 6 6
		東循環		一方行	7:30～18:25	12便	15

図－2 コミュニティバス（市内循環バス）系統全図

2) 系統別

①東西連絡（東行き・西行き）

久喜駅の西口と東口を発着点とし、久喜駅の南側を運行している。東行きは1日5便、西行きは1日6便運行しており、所要時間は、東行きが32分、西行きが28分である。鉄道の東側のルートは、東循環ルートとの重複区間が比較的長い状況である。

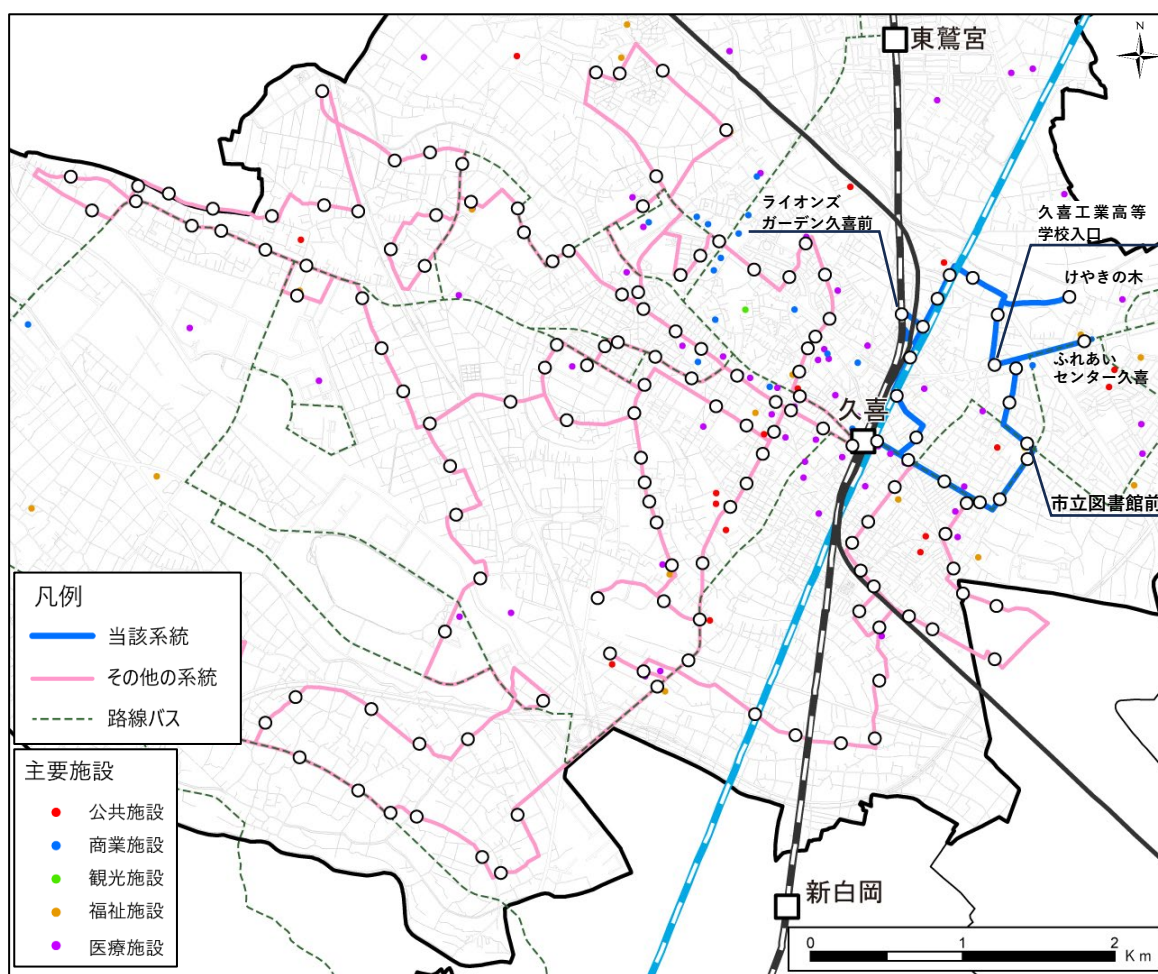


系統名		方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)
東西連絡	東行き	双方向	8:05～17:47	5便	32
	西行き		9:15～19:08	6便	28

図－3 東西連絡線_系統図

②野久喜・吉羽循環（野久喜経由・ふれあいセンター行き、吉羽経由・久喜駅東口行き）

久喜駅東口を発着点とし、久喜駅の北東部を運行している。高校、図書館、大規模集合住宅、福祉施設等を経由する野久喜・吉羽循環は１日９便、久喜駅東口とふれあいセンター久喜を連絡する野久喜経由・ふれあいセンター行きと吉羽経由・久喜駅東口行きはそれぞれ１日２便運行している。所要時間は、野久喜・吉羽循環は 25 分、野久喜経由・ふれあいセンター行きは 12 分、吉羽経由・久喜駅東口行きは 10 分である。

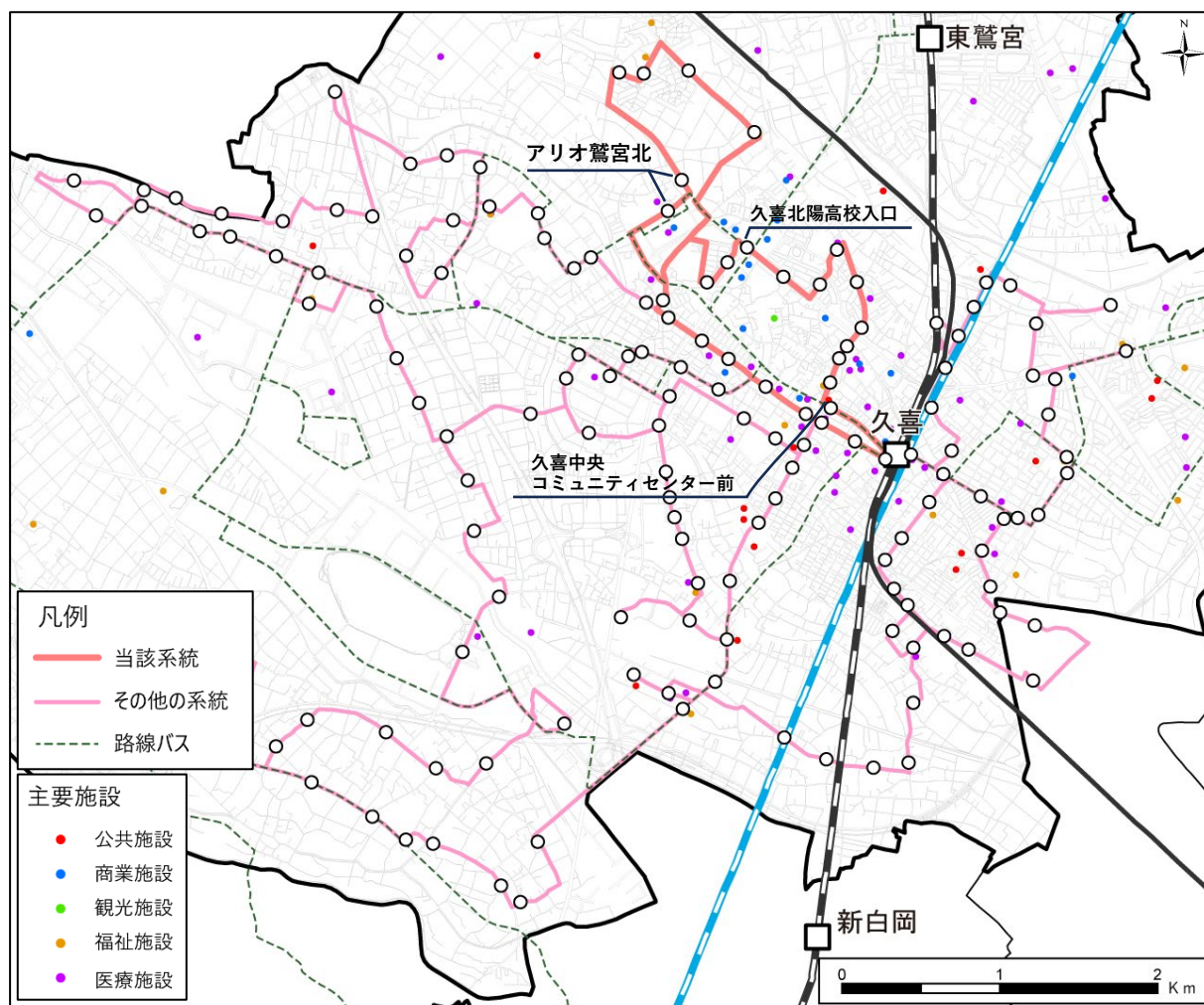


系統名	方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)
野久喜・吉羽循環	一方行	8:40～17:25	9便	25
			ふれあいセンター2便	12
			駅東口2便	10

図－4 野久喜・吉羽循環_系統図

③久喜本循環（右回り・左回り）

久喜駅西口を発着点とし、高校、コミュニティセンター、大規模商業施設等を経由する8の字型のルートで運行している。7時台から14時台までは右回りで1日4便、15時以降は左回りで1日5便運行しており、所要時間は35分である。全系統の中で最も遅い20時台まで運行している。

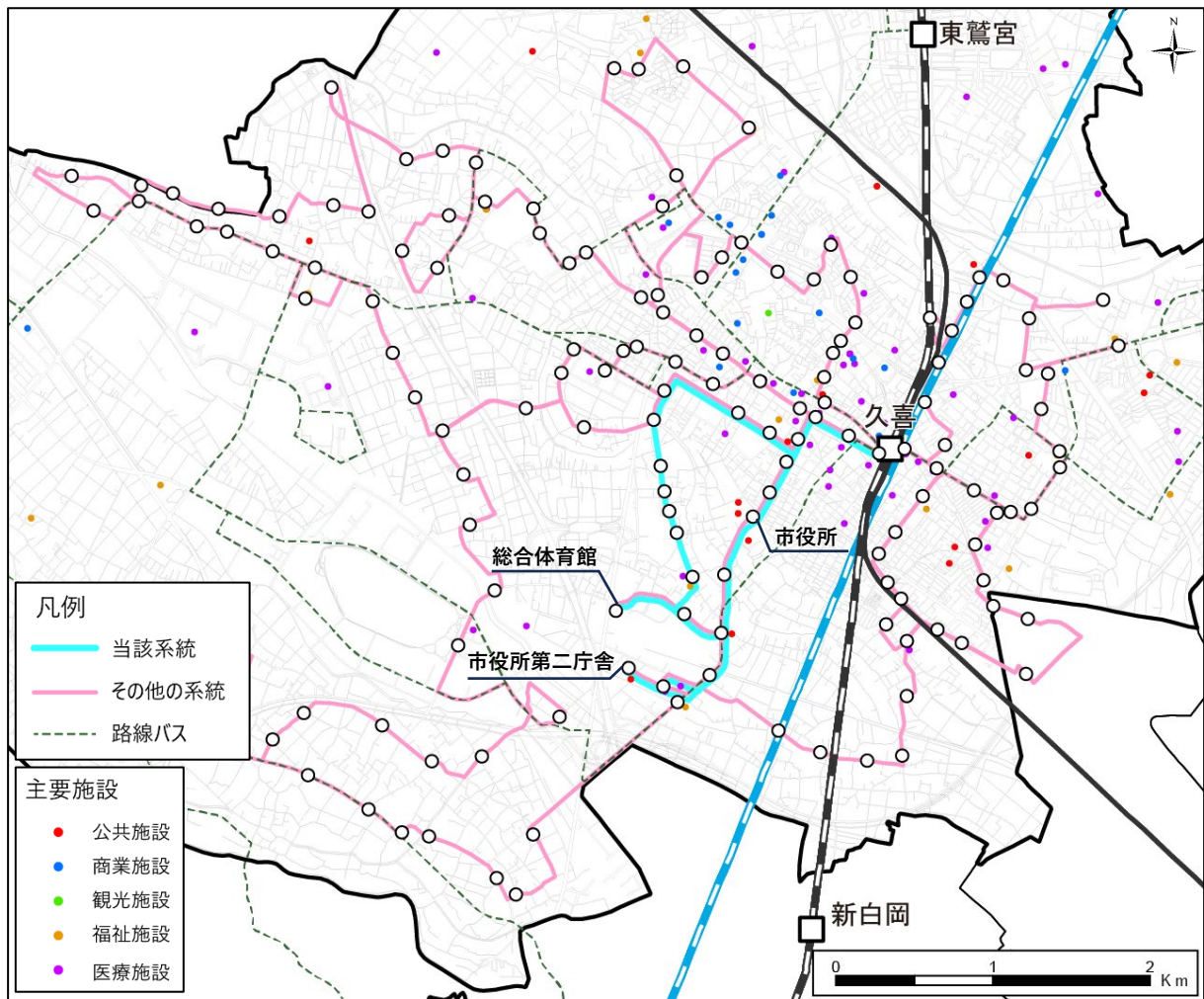


系統名		方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)
久喜本循環	右回り	双方向	7:30～14:55	4便	35
	左回り		15:10～20:05	5便	35

図－5 久喜本循環_系統図

④下早見循環（右回り・左回り）

市役所を発着点とし、久喜駅の西側を運行している。市役所第二庁舎、総合体育館等を
 経由している。7時台から14時台までは右回りで1日4便、15時以降は左回りで1日3
 便運行しており、所要時間は25分である。他の系統との重複区間が長い系統である。

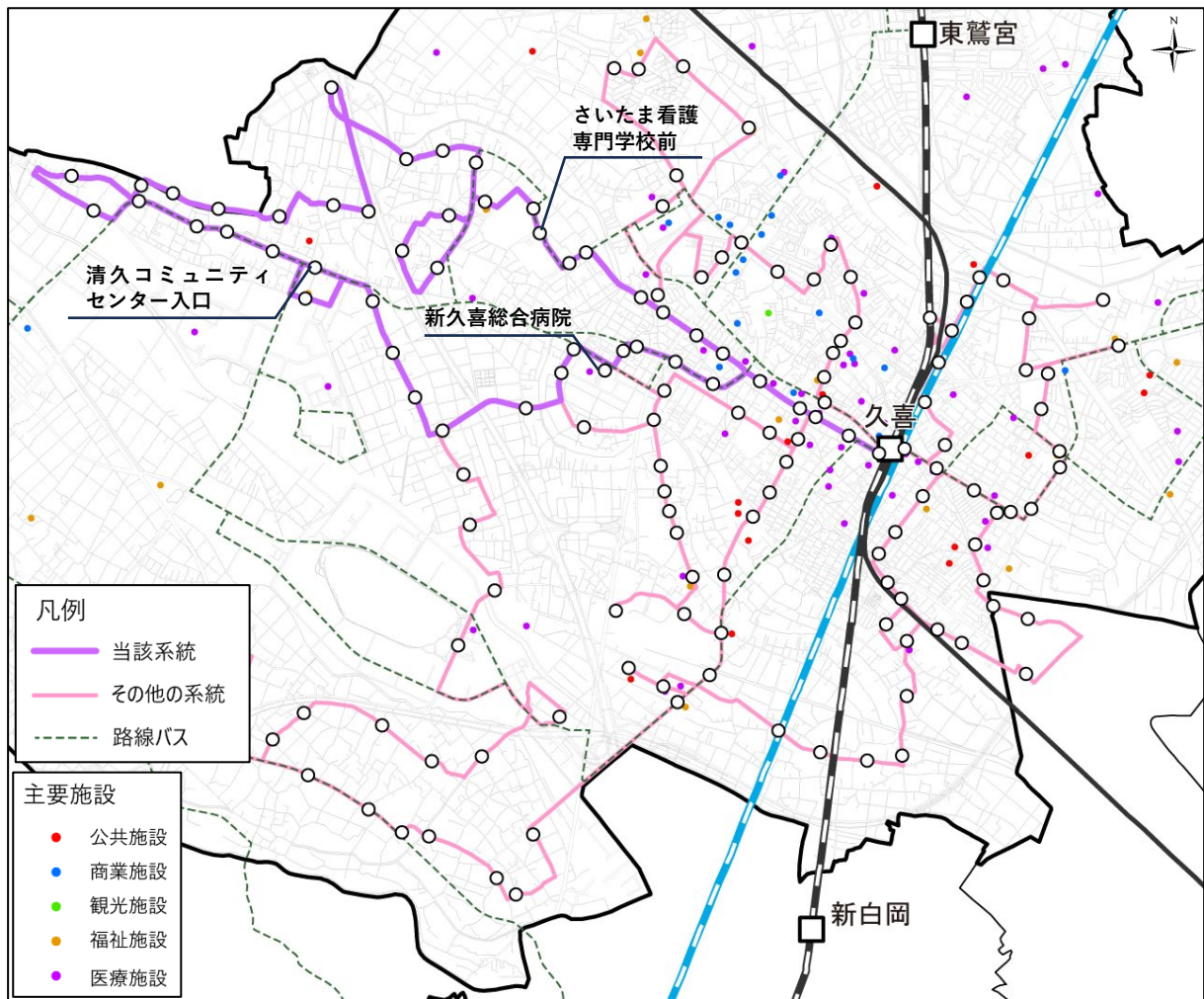


系統名		方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)
下早見循環	右回り	双方向	7:20～14:40	4便	25
	左回り		16:25～19:50	3便	25

図－6 下早見循環_系統図

⑤六万部・北中曽根循環

久喜駅西口を発着点とし、久喜駅西側の広い範囲を一方行で運行するルートで、病院、コミュニティセンター、専門学校等を経由している。1日5便で、所要時間は57分である。

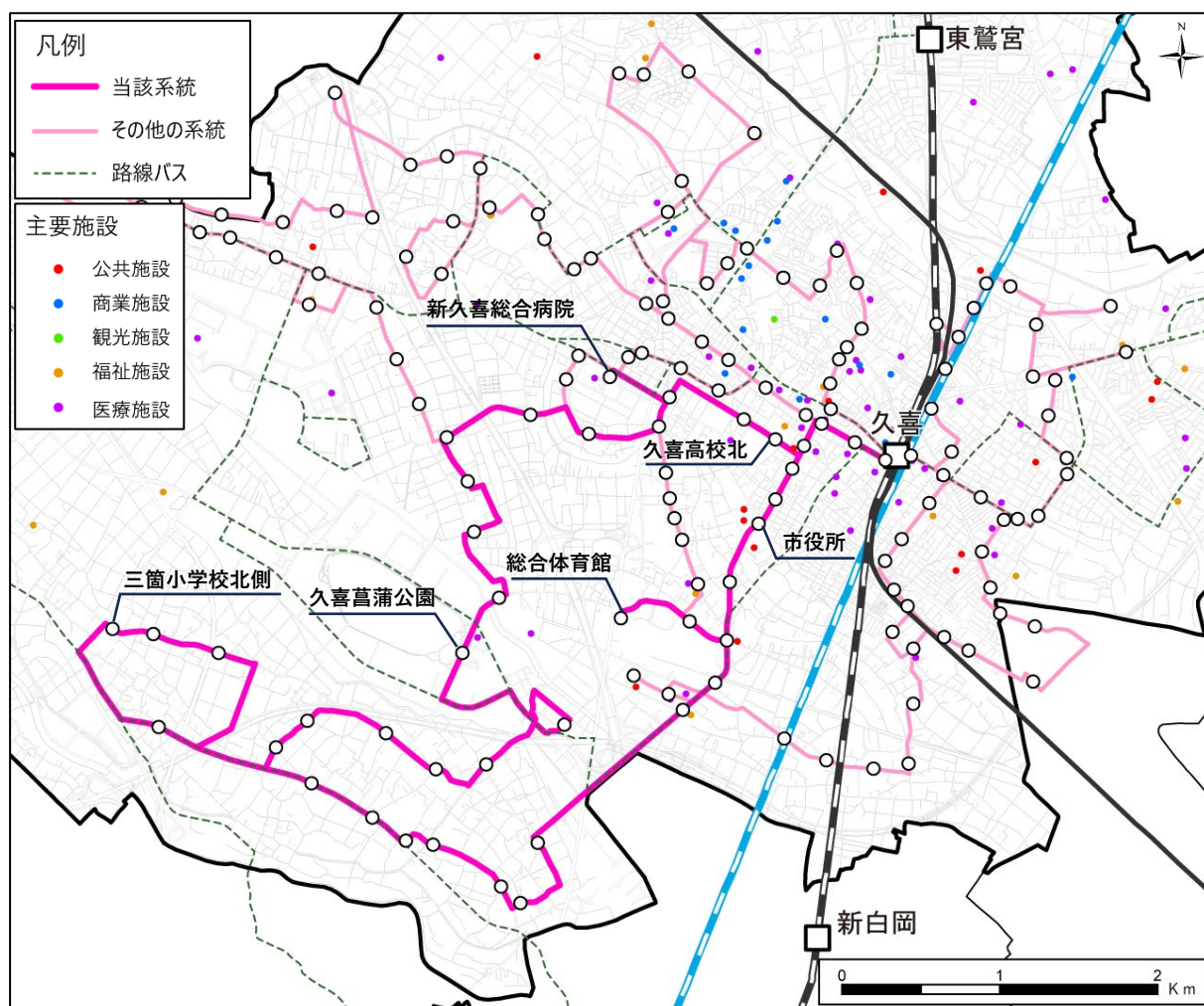


系統名	方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)
六万部・北中曽根循環	一方行	8:20~18:48	5便	57

図－7 六万部・北中曽根循環_系統図

⑥除堀・所久喜循環（久喜駅西口発市役所行き、市役所発久喜駅西口行き）

市役所を発着点としており、久喜駅南西部の広い範囲を一方行で運行している。市役所、公園、小学校、病院、高校、久喜駅西口等を経由するルートは1日6便、久喜駅西口と市役所を結ぶ久喜駅西口発市役所行きは1日2便、市役所発久喜駅西口行きは1日1便運行している。除堀・所久喜循環の所要時間は85分で、全系統の中で最も長い。

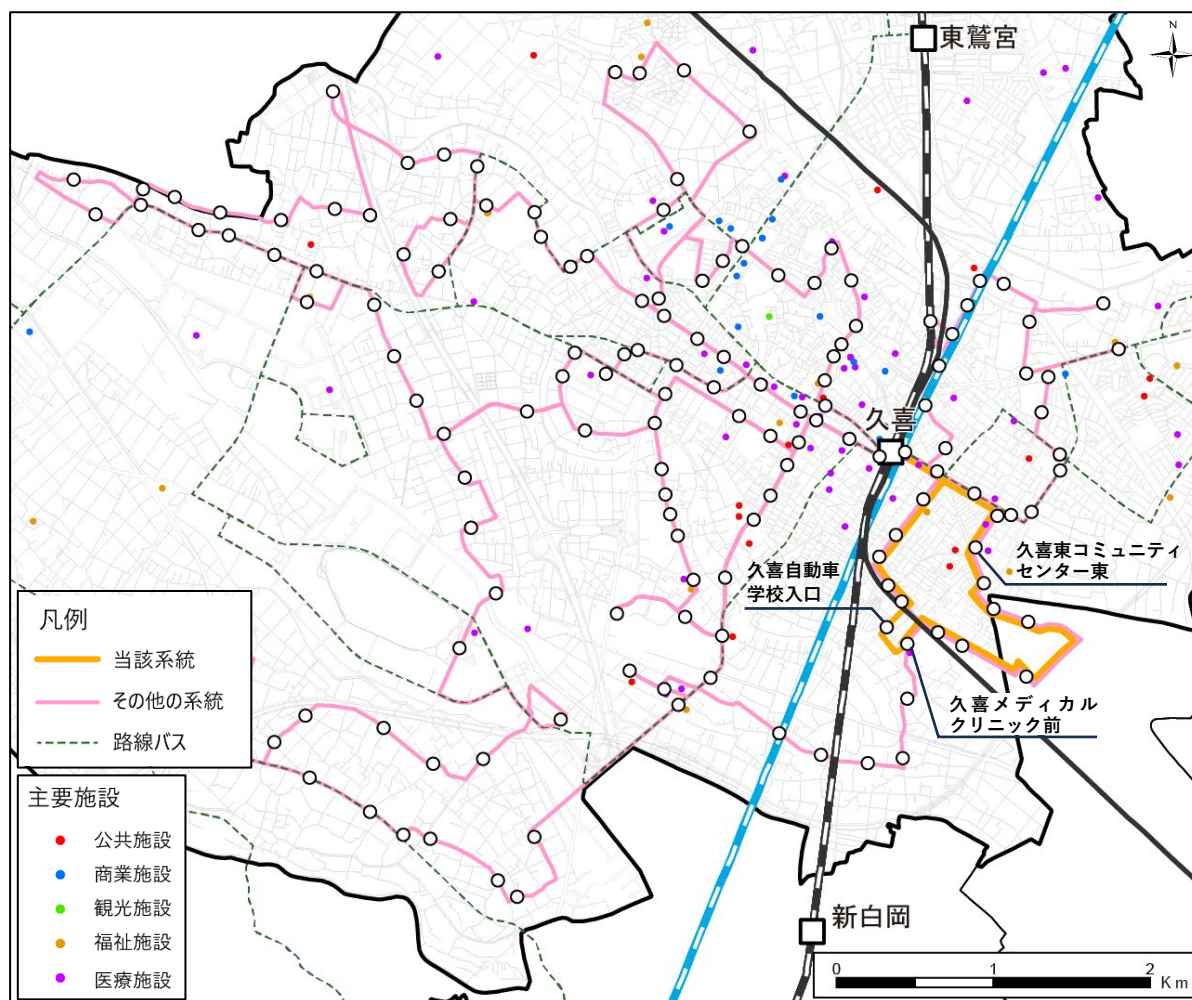


系統名	方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)
除堀・所久喜循環	一方行	7:25～19:47	市役所発着6便	85
			駅西口→市役所2便	6
			市役所→駅西口1便	6

図－8 除堀・所久喜循環_系統図

⑦東循環

久喜駅東口を発着点とし、久喜駅の南東部を運行する全系統の中で最も距離が短いルートで、コミュニティセンター、クリニック、自動車学校等を経由している。1日12便運行しており、所要時間は15分で、ほとんどの区間が東西連絡と重複している。



系統名	方向	運行時間帯	運行便数	所要時間 (分)
東循環	一方行	7:30～18:25	12便	15

図－9 東循環_系統図

(3) デマンド交通（くきまる）

本市が運行するデマンド交通（くきまる）は、市内在住・在勤・在学者を対象に菖蒲地区（新久喜総合病院含む）、栗橋・鷺宮地区で運行している。

運行日等は月曜日から土曜日の7時から18時まで、利用料金は1回500円（新久喜総合病院へは1回800円）で、各地区の乗降ポイントである自宅及び公共施設など（441箇所）を目的地としている。事前に利用登録の上、利用日の1週間前から乗りたい便の30分前までに予約センターに電話、FAXまたはインターネットから予約する必要がある。

運行している車両は、各地区ワゴンタイプ1台、セダンタイプ1台の計4台である。

表－1 デマンド交通（くきまる）の概要

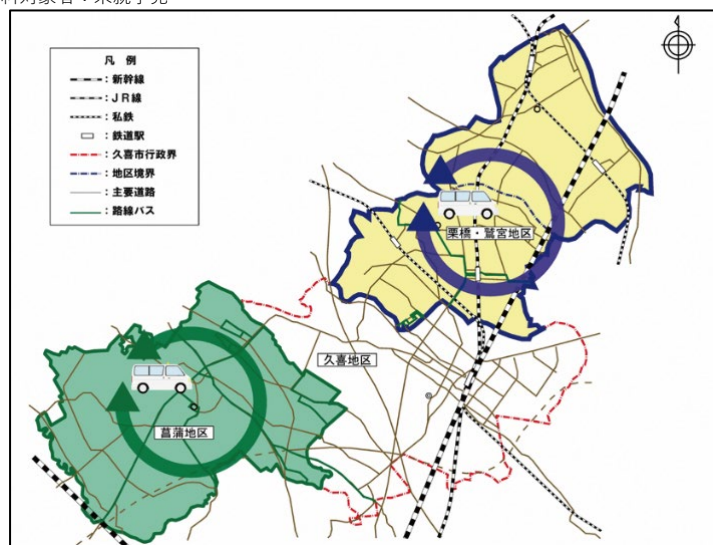
項目	内容
運行エリア	「菖蒲地区」と「栗橋・鷺宮地区」のそれぞれのエリア内でのみの運行
運行日	月曜日～土曜日※日曜、祝日、年末年始（12/29～1/3）は運休
運行時間帯	7時（発時刻）～17時（発時刻）の間で運行し、18時には運行を終了
運行ダイヤ	1日1台あたり次の10便による運行※12:00の便はなし 7:00 8:00 9:00 10:00 11:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00
運行車両	各地区リフト付きワゴン車両1台（10人以下の車両）とセダン車両1台
目的地	自宅及び乗降ポイント（441箇所）
運賃	1回乗車500円（新久喜総合病院の往來は1回乗車800円）※
回数券の種類	回数券5,000円（500円券×11枚）、回数券2,500円（250円券×11枚）
利用対象者	事前に利用者登録をしている市内に在住・在勤・在学する方
利用者登録	電子申請サービス、窓口・郵送・FAX等で申請
予約受付	電話、FAX又はインターネットによる事前予約制

※割引運賃

◇半額対象者

- ①80歳以上の方
- ②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方
- ③指定難病医療受給者証、特定疾患医療受給者証、指定疾患医療受給者証、県単指定難病医療受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている方
- ④介護認定又は要支援認定を受けている方
- ⑤上記②～④の方1人につき同伴の介助者1人 ⑥小学生
- ⑦妊産婦（母子健康手帳を交付された方で出産予定日3か月後まで）及び介助者1人

◇無料対象者：未就学児



出典：デマンド交通（くきまる）パンフレット（久喜市）

図－10 デマンド交通（くきまる）の運行イメージ

(4) くきふれあいタクシー（補助タク）

民間の事業者が運行する公共交通を補完し、市民の移動手段を確保することを目的に、主に久喜地区ではコミュニティバス（市内循環バス）を、菖蒲地区及び栗橋・鷲宮地区ではデマンド交通（くきまる）を、それぞれの地区の特性に合わせて運行してきた。

しかし、デマンド交通（くきまる）を運行していない久喜地区においても、高齢者のみの世帯や高齢者の一人暮らしなどが増えている状況であったことから、自宅から通院や買い物などで利用できるデマンド型の移動手段の確保を求める声があがっていた。そのため、地域公共交通会議での協議を経て、くきふれあいタクシー（補助タク）の実証実験を令和2（2020）年3月31日まで行い、翌年度から本格運行を開始した。

くきふれあいタクシー（補助タク）は、市内から市内、市内から市外、市外から市内を運行区域としている。

利用対象者は、久喜市に住民登録のある75歳以上の方、障害者手帳の交付を受けている方などである。

利用料金は、タクシー料金に応じた利用者負担額を設定している。

また、利用できるタクシー会社は7社で、運行車両は、各社2台ずつである。

対象エリア	市内、市内⇄市外（市外から市外は除く）
※市と協定を締結している、運行事業者による運行に限ります。	
対象日及び時間	月～土曜日の午前9時～午後5時 ※日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）は対象外 ※電話は午前9時～午後4時30分を目安にお願いします
利用対象者及び 利用登録申請	久喜市に住民登録のある下記の方  【電子申請】右の二次元コードから申請 【窓口・郵送】申請先：交通住宅課または各行政センター 申請書とともに、下記の利用対象者確認書類の写しの提出してください。
利用対象者	利用対象者確認書類
75歳以上の方	官公署から発行された氏名・生年月日が確認できるもの
身体障害者手帳の交付を受けている方（1～3級）	身体障害者手帳
療育手帳の交付を受けている方（㉔・A・B）	療育手帳
精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方（1・2級）	精神障害者保健福祉手帳
要介護認定を受けている方（1～5）	介護保険被保険者証
要支援認定を受けている方（1・2）	
指定難病医療受給者証、特定疾患医療受給者証、指定疾患医療受給者証、県単独指定難病医療受給者証または小児慢性特定疾病医療受給者証の交付を受けている方	各受給者証
妊産婦（母子健康手帳を交付された方で出産予定日3か月後まで）	母子健康手帳

利用料金	下表のとおり			
通常料金の場合		障がい者割引を受ける場合		
タクシー料金	利用者負担額	タクシー料金	利用者負担額	
900円	500円	850円、940円	500円	
1,000円、1,100円	600円	1,030円、1,120円	600円	
1,200円、1,300円	700円	1,210円、1,300円	700円	
1,400円	800円	1,390円、1,480円	800円	
1,500円～1,700円	900円	1,570円、1,660円	900円	
1,800円	1,000円	1,750円	1,000円	
1,900円、2,000円	1,100円	1,840円、1,930円	1,100円	
2,100円	1,200円	2,020円、2,110円	1,200円	
2,200円、2,300円	1,300円	2,200円、2,290円	1,300円	
2,400円、2,500円	1,400円	2,380円、2,470円	1,400円	
2,600円、2,700円	1,500円	2,560円、2,650円	1,500円	
2,800円、2,900円	1,600円	2,740円、2,830円	1,600円	
3,000円	1,700円	2,920円、3,010円	1,700円	
3,100円、3,200円	1,800円	3,100円、3,190円	1,800円	
3,300円、3,400円	1,900円	3,280円、3,370円	1,900円	
3,500円以上	タクシー料金から1,500円を引いた額	3,460円	2,000円	
		3,550円以上	タクシー料金から1,500円を引いた額	

図ー11 くきふれあいタクシー（補助タク）の概要

2. 交通モード別利用状況

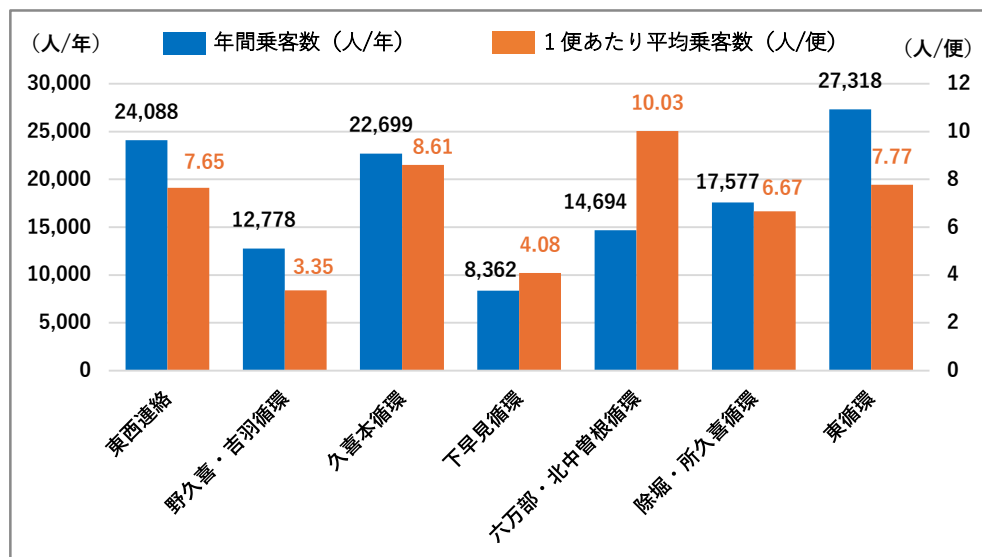
(1) コミュニティバス（市内循環バス）の利用状況

1) 系統別利用状況

令和6（2024）年度の年間乗客数は、運行便数の多い東循環が最も多い。また、1便あたりの平均乗客数は六万部・北中曽根循環が10人以上と最も多い。下早見循環の年間乗客数は最も少ない。また、下早見循環と野久喜・吉羽循環の1便あたりの平均乗客数ともに最も少なく、1便あたりの平均乗客数は5人未満となっている。

表－2 系統別利用状況

系統名		方向	運行時間帯	運行便数	年間乗客数 (人/年)	1便あたり 平均乗客数 (人/便)	1か月あたり 平均乗客数 (人/月)
東西連絡	東行き	双方向	8:05～17:47	5便	14,010	9.56	1,168
	西行き		9:15～19:08	6便	10,078	5.73	840
野久喜・吉羽循環		一方行	8:40～17:25	9便	11,321	4.29	943
				ふれあいセンター2便	900	1.54	75
				駅東口2便	557	0.95	46
久喜本循環	右回り	双方向	7:30～14:55	4便	22,699	8.61	1,892
	左回り		15:10～20:05	5便			
下早見循環	右回り	双方向	7:20～14:40	4便	8,362	4.08	697
	左回り		16:25～19:50	3便			
六万部・北中曽根循環		一方行	8:20～18:48	5便	14,694	10.03	1,225
除堀・所久喜循環		一方行	7:25～19:47	市役所発着6便	16,553	9.42	1,379
				駅西口→市役所2便	365	0.62	30
				市役所→駅西口1便	659	2.25	55
東循環		一方行	7:30～18:25	12便	27,318	7.77	2,277



図－12 系統別年間乗降者数と1便あたり平均乗客数

2) バス停別利用状況調査と結果

令和6（2024）年12月10日から令和7（2025）年3月10日の期間の中で24日分の調査を行い、全便のドライブレコーダーの情報をもとに乗降者人数を把握した。調査概要及び結果を以下に示す。

1) 実施期間

令和6（2024）年12月10日から令和7（2025）年3月10日のうちの24日間（日曜日を除く）。

・調査実施日（各月6日間）

12/10（火）、11（水）、12（木）、13（金）、14（土）、16（月）

1/15（水）、16（木）、17（金）、18（土）、20（月）、21（火）

2/4（火）、5（水）、6（木）、7（金）、8（土）、10（月）

3/4（火）、5（水）、6（木）、7（金）、8（土）、10（月）

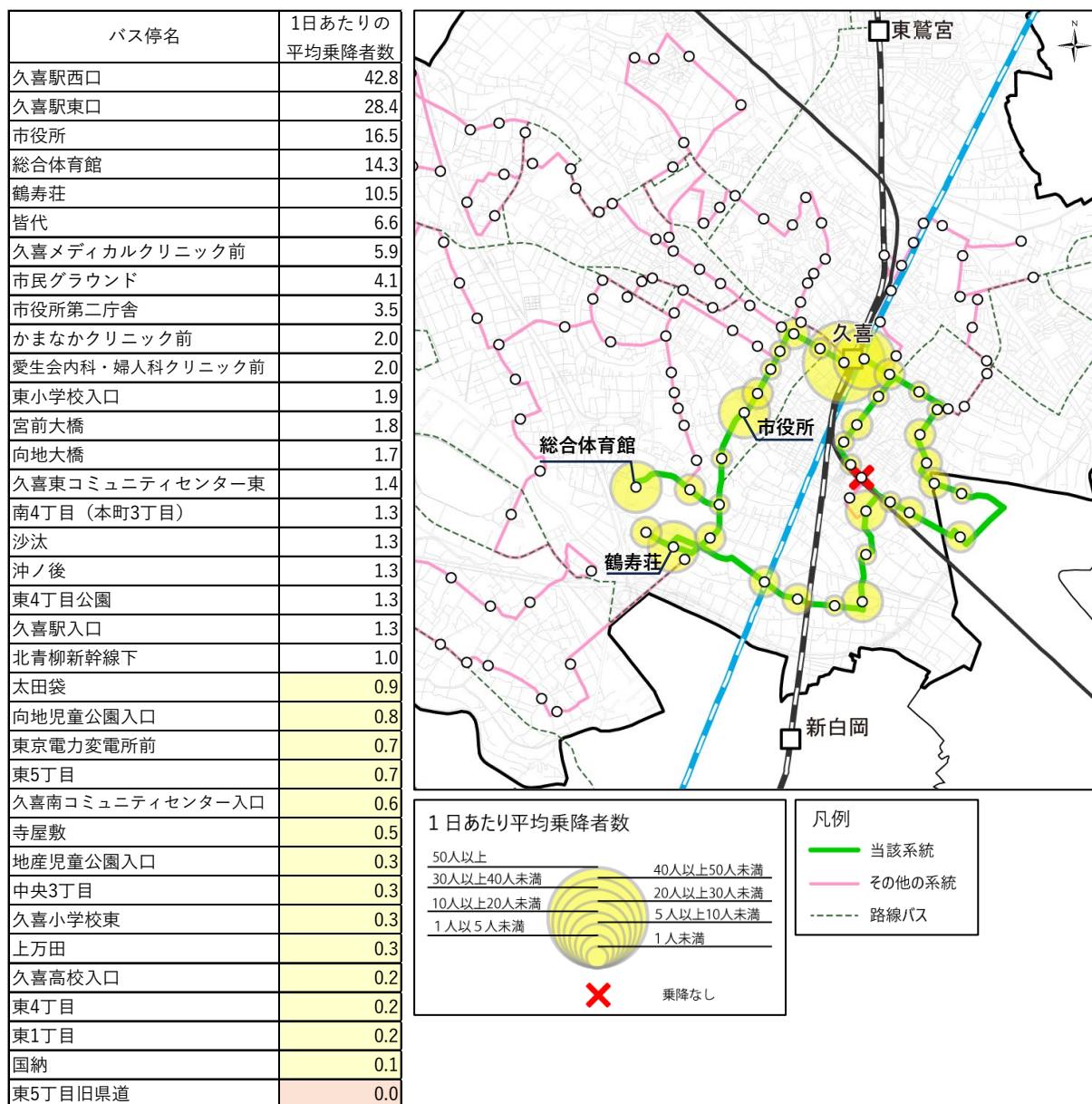
2) 調査方法・調査対象

調査方法については車両搭載のドライブレコーダーの映像を基に、バス停ごとの乗車人数・降車人数を計上した。

調査対象についてはコミュニティバス（市内循環バス）の7系統における全便が対象である。

①東西連絡（東行き・西行き）

鉄道西側の市役所、総合体育館、鶴寿荘の1日あたりの平均乗降者数は10人以上だが、鉄道の東側は乗降が少なく、東循環と重複している区間は2人以下で特に少ない。



※1人未満のバス停の割合：41.7%

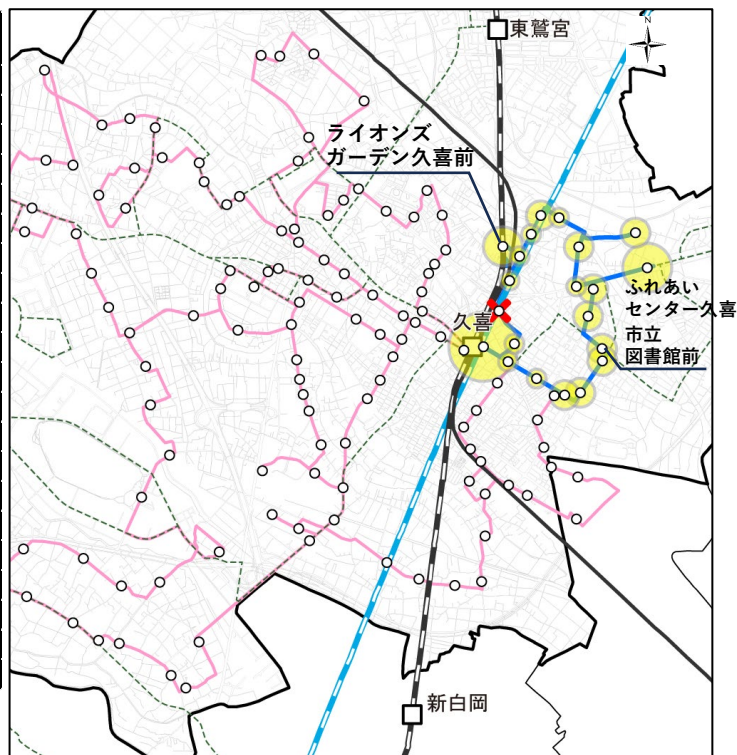
表－3 図－13 東西連絡_バス停別1日あたりの平均乗降者数

②野久喜・吉羽循環（野久喜経由・ふれあいセンター行き、吉羽経由・久喜駅東口行き）

ふれあいセンター久喜での1日あたりの平均乗降者数は10人以上であり、人口が集積しているライオンズガーデン久喜前は8人程度となっている。循環ルートでの乗降が少ないバス停の割合が高い。

バス停名	1日あたりの 平均乗降者数
久喜駅東口	32.4
ふれあいセンター久喜	14.7
ライオンズガーデン久喜前	8.4
けやきの木	4.7
野久喜集会所入口	1.7
西児童公園入口	1.7
太田小学校北	1.3
市立図書館前	1.1
野久喜大橋	1.1
向地児童公園北	1.0
太田小学校前	1.0
高田	1.0
上宿	0.7
地産児童公園入口	0.5
下宿	0.5
久喜駅入口	0.3
ライオンズガーデン入口	0.3
久喜工業高等学校入口	0.3
西新田児童公園入口	0.2
出来野	0.1
自転車等保管所入口	0.0

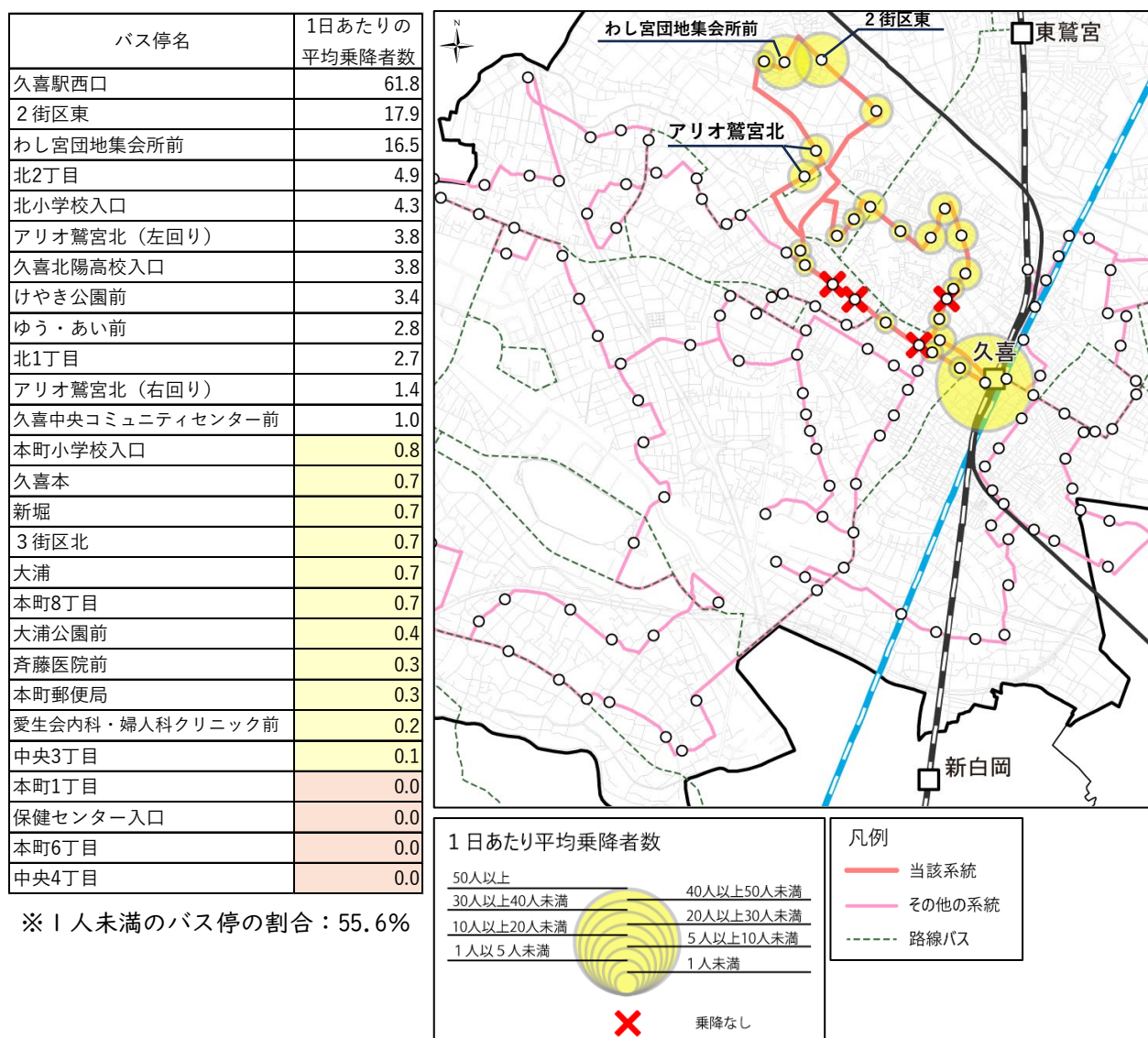
※1人未満のバス停の割合：42.9%



表－4 図－14 野久喜・吉羽循環_バス停別1日あたりの平均乗降者数

③久喜本循環（右回り・左回り）

わし宮団地集会所前、2街区東の1日あたりの平均乗降者数は15人以上だが、他の系統と重複している区間や路線バスのルートに近いバス停では、1人も利用されていない箇所がある。半数以上のバス停では1人未満である。アリオ鷺宮北は右回りと左回りで位置が異なるバス停を合計しても5人程度となっている。ルートの半数以上のバス停で1人未満であり、他の系統と重複している箇所がある。

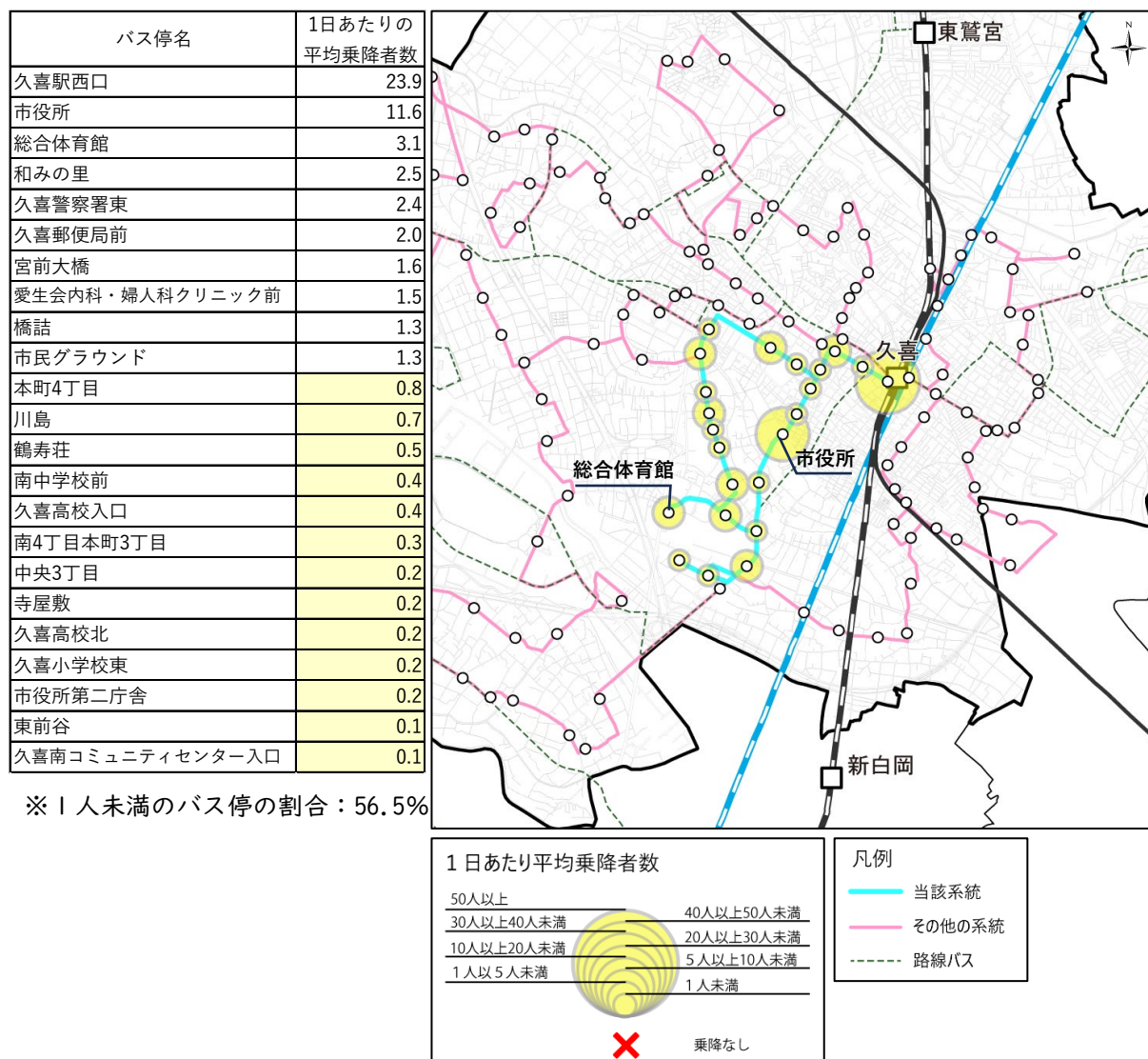


※1人未満のバス停の割合：55.6%

表－5 図－15 久喜本循環_バス停別1日あたりの平均乗降者数

④下早見循環（右回り・左回り）

発着点となる市役所であっても1日あたりの平均乗降者数が11人程度である。市役所以外のバス停の乗降は少なく、1人未満のバス停の割合が56.5%と半数以上となっている。



表－6 図－16 下早見循環_バス停別1日あたりの平均乗降者数

⑤六万部・北中曽根循環

福祉施設である久喜けいわでは、1日あたりの平均乗降者数が15人以上であり、埼玉県
 県の施設である園芸研究所前では5人の乗降がある。路線バスの重複区間では乗降が少
 なく、1人も利用がないバス停は6箇所となっている。

バス停名	1日あたりの 平均乗降者数	バス停名	1日あたりの 平均乗降者数
久喜駅西口	40.4	中央3丁目	0.5
久喜けいわ	15.1	川妻バス停	0.5
園芸研究所前	5.0	斉藤医院前	0.5
さいたま看護専門学校前	3.0	保健センター入口	0.5
本町1丁目	2.8	仁丁通り谷田向	0.4
川妻	2.1	偕楽荘前	0.4
新久喜総合病院	2.0	長宮神社南	0.4
松の木公園前	2.0	六所神社前	0.4
橋場	1.9	森下	0.4
清久コミュニティセンター入口	1.6	上町北	0.3
蔵前	1.5	北中曽根バス停	0.3
本町6丁目	1.5	上清久白幡	0.2
田ノ上	1.3	久喜本	0.1
橋戸	1.1	六所	0.1
本村	1.0	宮浦	0.1
八幡神社入口	0.8	北耕地集会所前	0.1
いちょうの木前	0.8	北中曽根	0.1
清久駐在所前	0.8	長宮	0.0
久喜上町	0.8	ふるさと農園久喜入口	0.0
中曽根工場前	0.7	白幡雷電神社前	0.0
仁丁町	0.7	西道下	0.0
上町	0.6	本田北	0.0
久喜中学校入口	0.6	新田	0.0
愛生会内科・婦人科クリニック前	0.6		

※1人未満のバス停の割合：68.1%

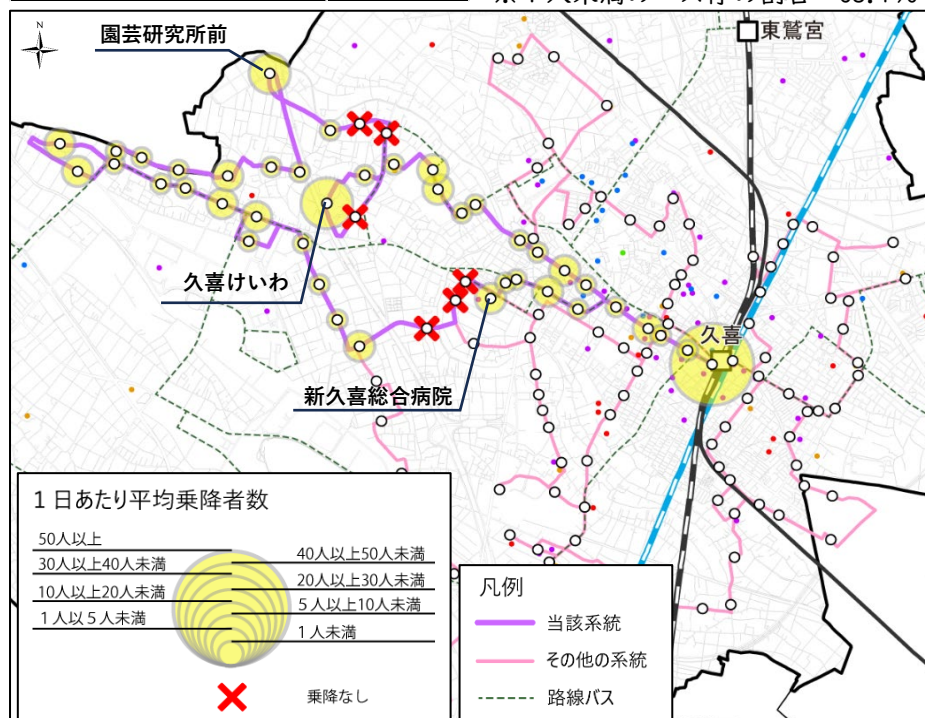
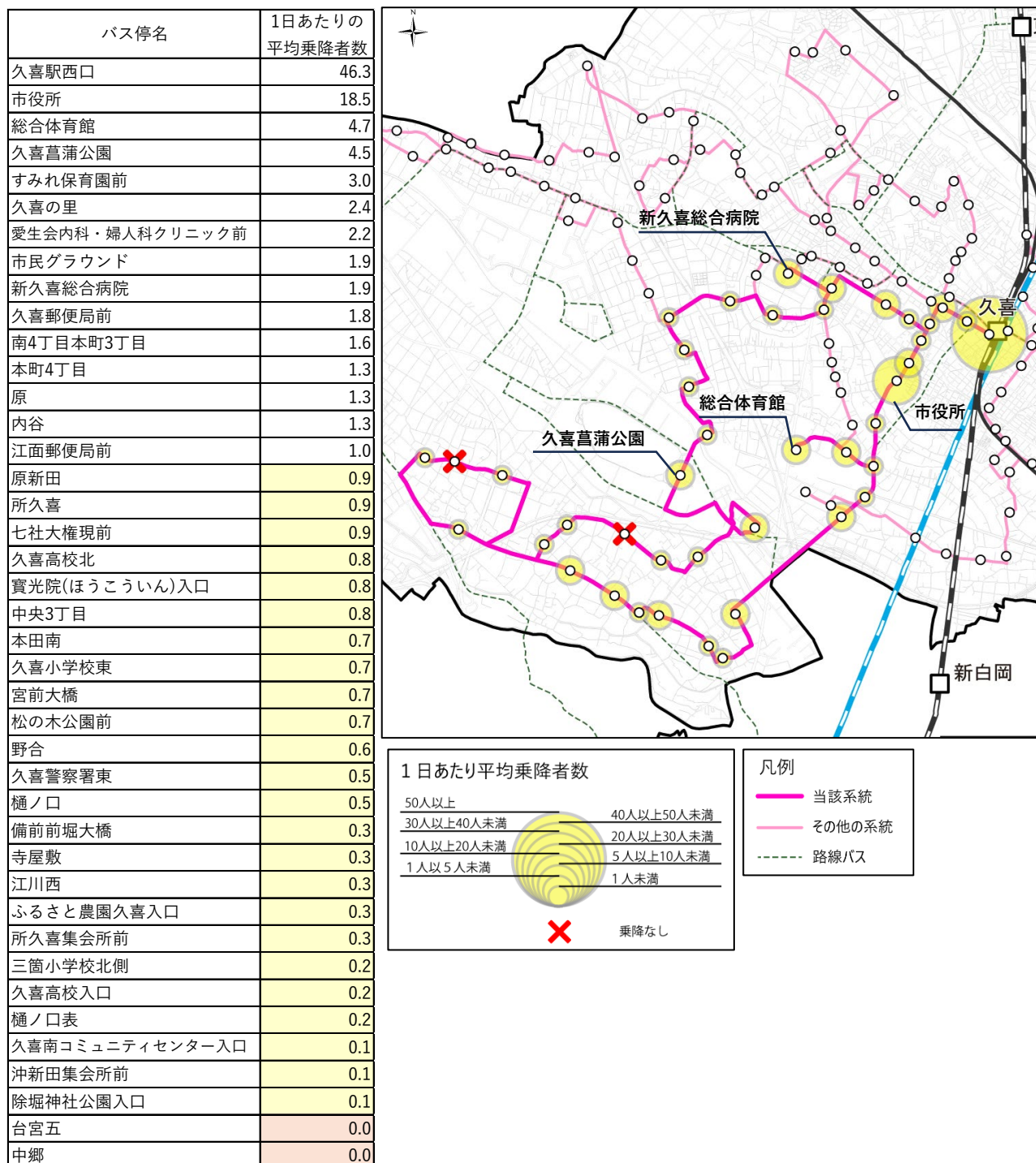


表-7 図-17 六万部・北中曽根循環_バス停別1日あたりの平均乗降者数

⑥除堀・所久喜循環（久喜駅西口発市役所行き、市役所発久喜駅西口行き）

市役所での、1日あたりの平均乗降者数は18人以上だが、それ以外のバス停は5人未満となっている。路線バスと重複していない区間のバス停が24箇所と多く、1人も利用がないバス停は2箇所となっている。



※1人未満のバス停の割合：63.4%

表-8 図-18 除堀・所久喜循環_バス停別1日あたりの平均乗降者数

⑦東循環

およそ半数のバス停で1日あたりの平均乗降者数は5人以上で、市外のバス停である沖ノ後、国納の乗降が多い。ほとんどの区間が東西連絡と重複しているが、東循環のバス停の方が乗降人数が多い。

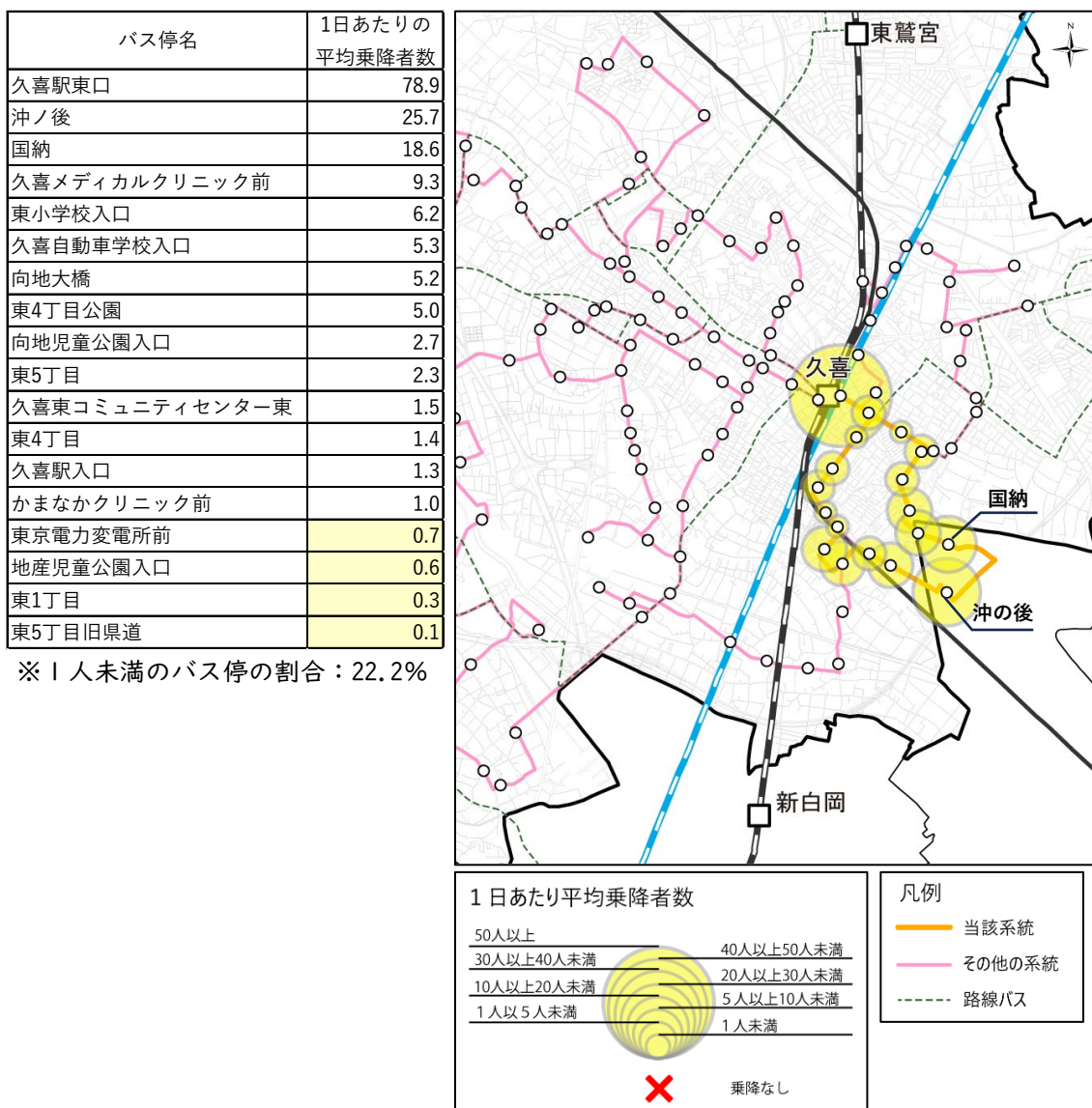


表-9 図-19 東循環_バス停別1日あたりの平均乗降者数

⑧全体

各バス停の1日あたりの平均乗降者数を算出したところ、ほとんどの系統において発着点となる久喜駅西口及び東口は多くの乗降がみられた。また、10人以上のバス停が12箇所あるが、1人未満のバス停は69箇所(46.0%)、そのうち利用がないバス停は8箇所(5.3%)となった。複数の系統で重複しているバス停は比較的乗降者数が多い一方で、六万部・北中曽根循環や除堀・所久喜循環のバス停において利用されていないバス停が目立っている。

表-10 バス停別1日あたりの平均乗降者数

バス停名	1日あたりの 平均乗降者数	バス停名	1日あたりの 平均乗降者数	バス停名	1日あたりの 平均乗降者数
久喜駅西口	209.0	アリオ鷺宮北(左回り)	2.0	仁丁町	0.7
久喜駅東口	139.8	中央3丁目	2.0	久喜本	0.6
市役所	49.0	橋場	1.9	本町8丁目	0.6
沖ノ後	27.0	野久喜集会所入口	1.7	上町	0.6
総合体育館	22.1	西児童公園入口	1.7	久喜中学校入口	0.6
わし宮団地集会所前	19.6	本町6丁目	1.7	野合	0.6
国納	18.7	新堀	1.6	江面郵便局前	0.5
2街区東	16.5	清久コミュニティセンター入口	1.6	東1丁目	0.5
久喜メディカルクリニック前	15.1	東4丁目	1.5	下宿	0.5
久喜けいわ	15.1	蔵前	1.5	保健センター入口	0.5
ふれあいセンター久喜	14.7	地産児童公園入口	1.4	川妻バス停	0.5
鶴寿荘	11.0	東京電力変電所前	1.4	除堀	0.5
ライオンズガーデン久喜前	8.4	中央4丁目	1.4	樋ノ口	0.5
東小学校入口	8.1	沙汰	1.3	南中学校前	0.4
市民グラウンド	7.2	原	1.3	仁丁通り谷田向	0.4
向地大橋	6.8	橋詰	1.3	偕楽荘前	0.4
皆代	6.6	内谷	1.3	長宮神社南	0.4
愛生会内科・婦人科クリニック前	6.6	太田小学校北	1.3	六所神社前	0.4
東4丁目公園	6.3	田ノ上	1.3	森下	0.4
久喜自動車学校入口	5.3	久喜小学校東	1.2	ライオンズガーデン入口	0.3
園芸研究所前	5.0	市立図書館前	1.1	備前前堀大橋	0.3
北小学校入口	4.9	野久喜大橋	1.1	上万田	0.3
アリオ鷺宮北(右回り)	4.8	橋戸	1.1	ふるさと農園久喜入口	0.3
けやきの木	4.7	寺屋敷	1.0	江川西	0.3
久喜菖蒲公園	4.5	向地児童公園北	1.0	久喜工業高等学校入口	0.3
宮前大橋	4.0	久喜高校北	1.0	本町郵便局	0.3
久喜北陽高校入口	4.0	北青柳新幹線下	1.0	上町北	0.3
けやき公園前	4.0	太田小学校前	1.0	北中曽根バス停	0.3
新久喜総合病院	3.9	高田	1.0	所久喜集会所前	0.3
久喜郵便局前	3.8	3街区北	1.0	上清久白幡	0.2
南4丁目(本町3丁目)	3.7	本村	1.0	三箇小学校北側	0.2
市役所第二庁舎	3.7	大浦	0.9	西新田児童公園入口	0.2
向地児童公園入口	3.5	原新田	0.9	樋ノ口表	0.2
北2丁目	3.5	所久喜	0.9	東5丁目旧県道	0.1
北1丁目	3.3	太田袋	0.9	東前谷	0.1
かななかクリニック前	3.0	七社大権現前	0.9	六所	0.1
本町1丁目	3.0	久喜南コミュニティセンター入口	0.8	出来野	0.1
さいたま看護専門学校前	3.0	大浦公園前	0.8	宮浦	0.1
すみれ保育園前	3.0	寛光院(ほうこういん)入口	0.8	北耕地集会所前	0.1
東5丁目	3.0	本町小学校入口	0.8	北中曽根	0.1
久喜警察署東	3.0	八幡神社入口	0.8	沖新田集会所前	0.1
久喜東コミュニティセンター東	2.8	いちようの木前	0.8	除堀神社公園入口	0.1
久喜駅入口	2.8	清久駐在所前	0.8	長宮	0.0
久喜中央コミュニティセンター前	2.6	久喜上町	0.8	自転車等保管所入口	0.0
松の木公園前	2.6	久喜高校入口	0.8	白幡雷電神社前	0.0
和みの里	2.5	川島	0.7	西道下	0.0
ゆう・あい前	2.5	中曽根工場前	0.7	本田北	0.0
久喜の里	2.4	本田南	0.7	新田	0.0
本町4丁目	2.2	上宿	0.7	台宮五	0.0
川妻	2.1	斎藤医院前	0.7	中郷	0.0

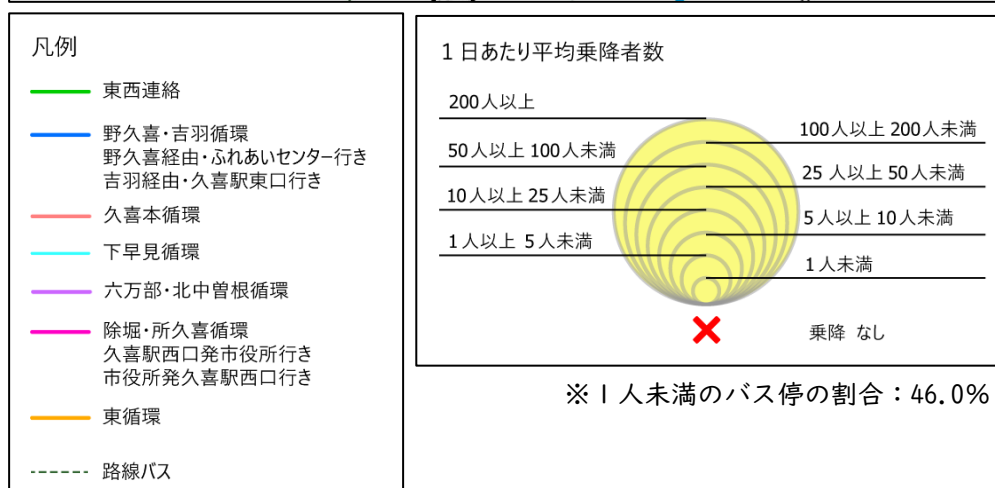
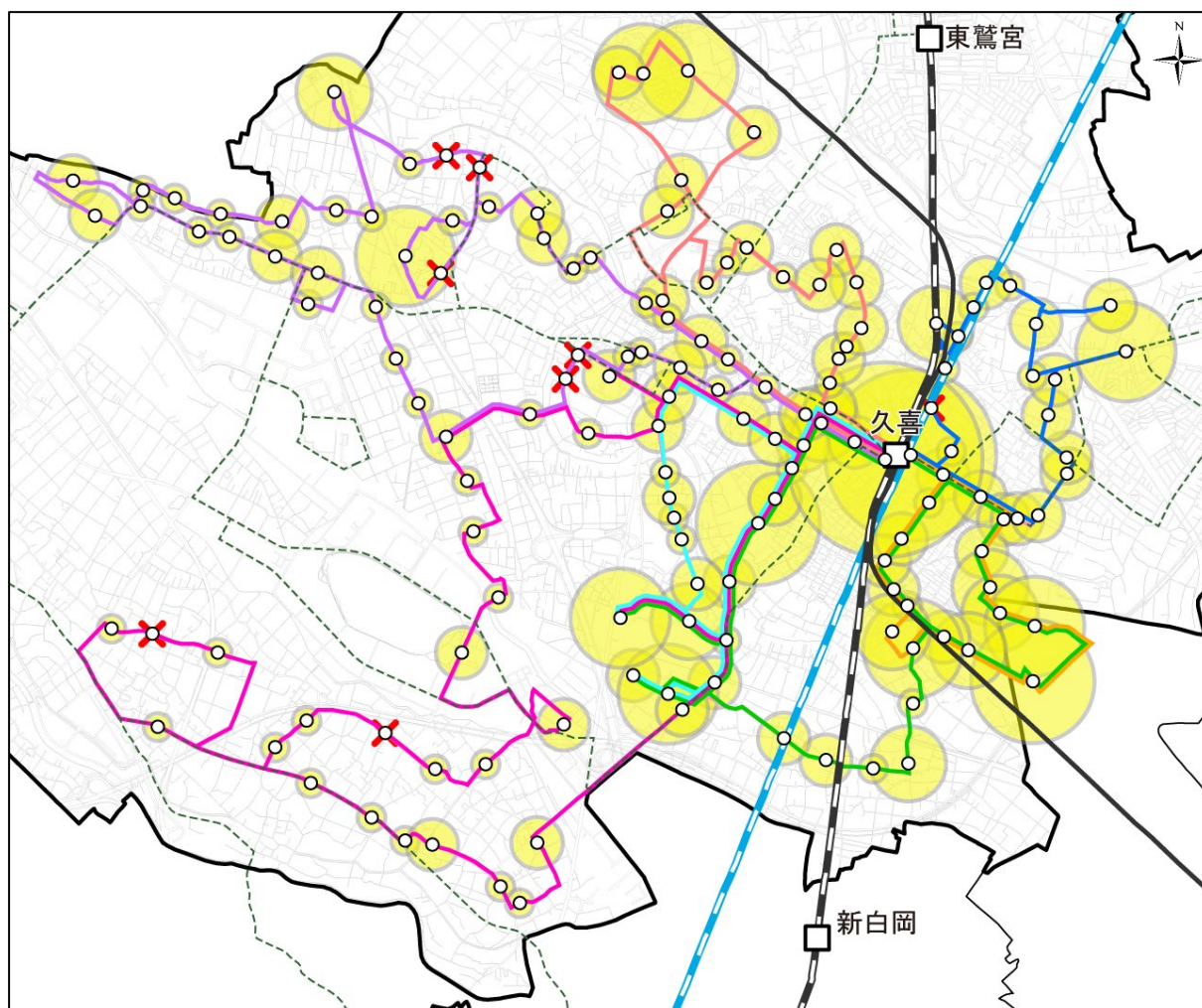


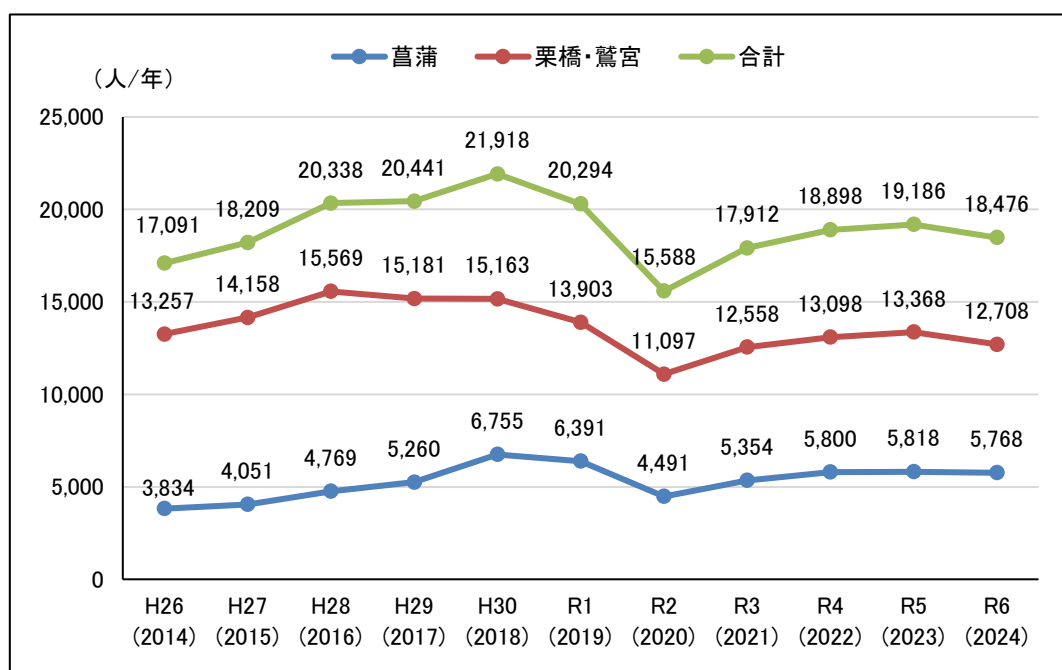
図-20 バス停別1日あたりの平均乗降者数

(2) デマンド交通（くきまる）の利用状況

地区別にデマンド交通（くきまる）の年間利用者数の推移をみると、最も利用者数が多かったのは平成 30（2018）年度で、菖蒲地区が 6.7 千人、栗橋・鷺宮地区が年間 1.5 万人、合計 2.2 万人である。他の年度も栗橋・鷺宮地区の利用者が多い。

新型コロナウイルスが感染拡大した令和 2（2020）年度には両地区で 1.6 万人に減少したが、その後増加傾向にある。令和 6（2024）年度の利用者数を運行日数の 293 日で割ると 1 日あたりの利用者数は約 63 人である。

令和 6（2024）年度で特に利用が多い施設は、栗橋・鷺宮地区の東鷺宮病院及びアリオ鷺宮で、それぞれ 1,200 回以上となっている。菖蒲地区では三須病院が最も多い 900 回程度となっている。主に医療施設、商業施設、駅等の施設と自宅間での移動が多くみられる。



出典：デマンド交通（くきまる）の利用状況（久喜市）

図-21 デマンド交通（くきまる）の年間利用者数の推移

表-11 デマンド交通（くきまる）の利用の多い施設

栗橋・鷲宮地区

施設	利用回数	施設	利用回数
東鷲宮病院	1,445	高橋医院	138
アリオ鷲宮	1,282	栗橋文化会館（イリス）	112
J R東日本東鷲宮駅西口	907	わたなベクリニック	109
矢作整形外科・内科	881	東武鉄道南栗橋駅西口	106
ベシシア栗橋店	713	大塚歯科医院	106
J R東日本・東武鉄道栗橋駅東口	668	栗橋行政センター	101
おおぎや眼科	558	たかはし耳鼻咽喉科	95
鷲宮行政センター	391	マミーマート栗橋店	92
ベスト東鷲宮	312	朝比奈医院	89
カスミ鷲宮店	305	栗橋コミュニティセンター（くぶる）	88
東武鉄道鷲宮駅東口	300	澤口歯科医院	82
酒井整形外科医院	288	南栗橋脳神経クリニック	81
相沢内科医院	231	埼玉りそな銀行鷲宮支店	80
東武鉄道南栗橋駅東口	210	岸田医院	75
鷲宮郵便局	169	埼玉りそな銀行栗橋支店	70
鷲宮福祉センター	160	ジョイフーズ鷲宮店	68
鷲宮中央コミュニティセンター	154	堀中脳神経外科クリニック	68
百観音温泉	151	J R東日本・東武鉄道栗橋駅西口	59
彩優会栗橋病院	148	鷲宮図書館	56
さかた内科クリニック	145	あすなろ南栗橋	51
久喜かわしま眼科	141	栗橋郵便局	51

菖蒲地区

施設	利用回数
三須医院	877
モラージュ菖蒲	698
ヤオコー久喜菖蒲店	658
宮嶋整形外科	465
山崎整形外科	282
新久喜総合病院	253
岩崎医院	233
重城泌尿器科クリニック	178
菖蒲行政センター	178
南彩農業協同組合菖蒲グリーンセンター	166
しょうぶ会館	140
しょうぶの里ゆとり野デイサービスセンター	120
久喜市商工会菖蒲支所・労働会館（あやめ会館）	99
マミーマート菖蒲店	99
しょうぶ眼科・内科	77
アルト・ボラルあおぞら	65
しょうぶ翔裕園	59
菖蒲郵便局	54
ウエルシア菖蒲店	50
しまむら菖蒲店	50
フォレオ菖蒲	50

出典：令和6（2024）年度実績（久喜市）

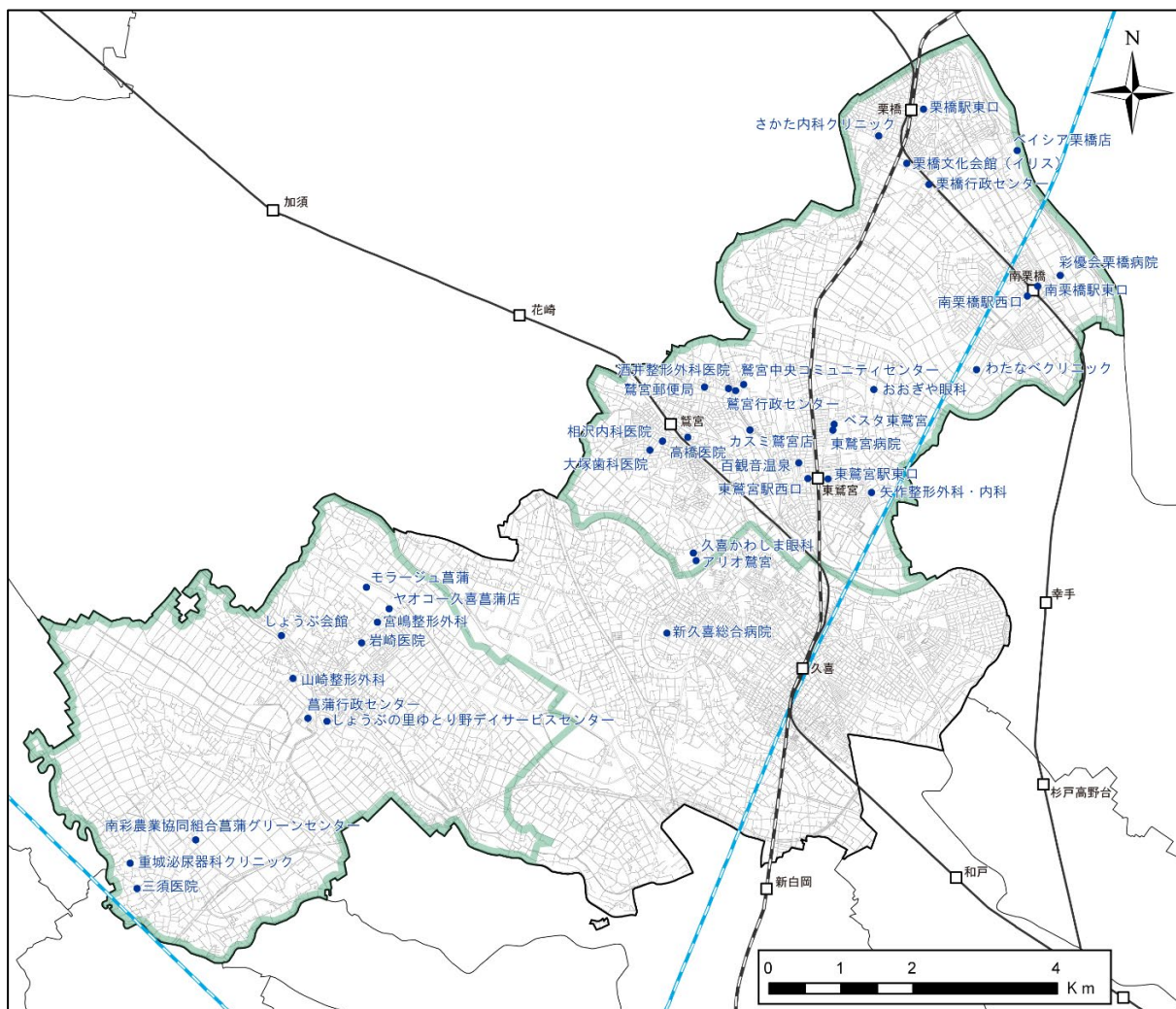


図-22 デマンド交通（くきまる）の利用の多い目的地（年間100回以上を表示）

表-12 デマンド交通（くきまる）の利用の多い出発地と目的地のペア
栗橋・鷺宮地区 菖蒲地区

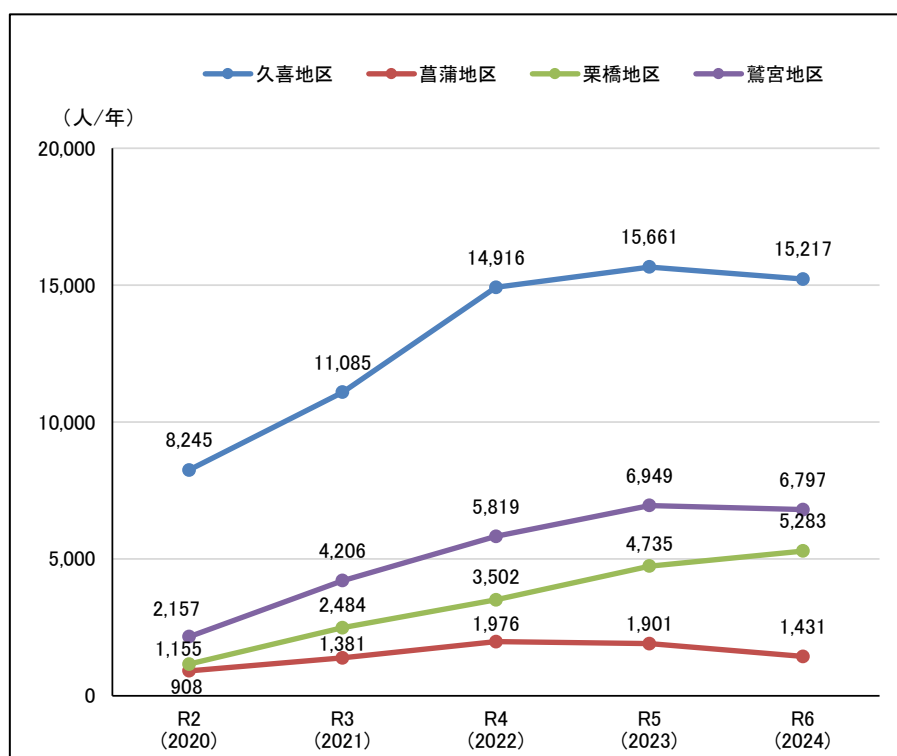
出発地と目的地のペア	利用回数
久喜市西大輪一丁目 ⇨ J R東日本東鷺宮駅西口	433
久喜市緑一丁目 ⇨ J R東日本・東武鉄道栗橋駅東口	408
久喜市葛梅二丁目 ⇨ J R東日本東鷺宮駅西口	247
久喜市桜田一丁目 ⇨ 鷺宮行政センター	204
久喜市上内 ⇨ アリオ鷺宮	202
久喜市栄一丁目 ⇨ 酒井整形外科医院	197
久喜市鷺宮 ⇨ カスミ鷺宮店	175
久喜市栗橋東一丁目 ⇨ 東鷺宮病院	150
久喜市緑一丁目 ⇨ 矢作整形外科・内科	147
久喜市西大輪一丁目 ⇨ アリオ鷺宮	146
久喜市栗橋東五丁目 ⇨ 東鷺宮病院	144
久喜市緑一丁目 ⇨ ベイシア栗橋店	142
久喜市緑一丁目 ⇨ 東鷺宮病院	133
久喜市栗橋東一丁目 ⇨ おおぎや眼科	133
久喜市上内 ⇨ 矢作整形外科・内科	117
久喜市佐間 ⇨ 鷺宮郵便局	117
久喜市鷺宮 ⇨ ベイシア栗橋店	112
久喜市栗橋東一丁目 ⇨ ベイシア栗橋店	107
久喜市葛梅二丁目 ⇨ アリオ鷺宮	104
久喜市鷺宮六丁目 ⇨ J R東日本東鷺宮駅西口	102
久喜市上内 ⇨ 相沢内科医院	102
久喜市栗橋東一丁目 ⇨ 矢作整形外科・内科	101
久喜市佐間 ⇨ ベイシア栗橋店	96
久喜市栗橋東六丁目 ⇨ 東武鉄道南栗橋駅東口	95
久喜市葛梅二丁目 ⇨ 東武鉄道鷺宮駅東口	90
久喜市栗橋 ⇨ 東鷺宮病院	90
久喜市栗橋東四丁目 ⇨ 東鷺宮病院	86
久喜市桜田三丁目 ⇨ ベスタ東鷺宮	84
久喜市鷺宮中央一丁目 ⇨ 鷺宮中央コミュニティセンター	76
久喜市八甫三丁目 ⇨ 鷺宮福祉センター	75
久喜市鷺宮六丁目 ⇨ ベスタ東鷺宮	73
久喜市小右衛門 ⇨ ベイシア栗橋店	72
久喜市緑一丁目 ⇨ マミーマート栗橋店	71
久喜市松永 ⇨ 矢作整形外科・内科	70
久喜市上内 ⇨ 東鷺宮病院	64
久喜市栗橋北二丁目 ⇨ 東鷺宮病院	64
久喜市栗橋中央二丁目 ⇨ 彩優会栗橋病院	64
久喜市栗橋東五丁目 ⇨ J R東日本・東武鉄道栗橋駅東口	64
久喜市桜田二丁目 ⇨ アリオ鷺宮	63
久喜市小右衛門 ⇨ 百観音温泉	61
久喜市栗橋北一丁目 ⇨ 矢作整形外科・内科	60
久喜市緑一丁目 ⇨ 東武鉄道南栗橋駅西口	59
久喜市西大輪 ⇨ 東鷺宮病院	59
久喜市上内 ⇨ 高橋医院	59
久喜市葛梅二丁目 ⇨ ジョイフーズ鷺宮店	58
久喜市鷺宮 ⇨ アリオ鷺宮	56
久喜市緑一丁目 ⇨ 東武鉄道南栗橋駅東口	55
久喜市伊坂 ⇨ 栗橋文化会館（イリス）	55
久喜市鷺宮中央一丁目 ⇨ アリオ鷺宮	52
久喜市鷺宮四丁目 ⇨ 鷺宮福祉センター	52
久喜市栗橋東五丁目 ⇨ 百観音温泉	52
久喜市鷺宮中央一丁目 ⇨ 酒井整形外科医院	51
久喜市高柳 ⇨ 東鷺宮病院	51
久喜市鷺宮六丁目 ⇨ 東鷺宮病院	50

出発地と目的地のペア	利用回数
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ ヤオコー久喜菖蒲店	413
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ モラージュ菖蒲	313
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 宮嶋整形外科	234
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 三須医院	226
久喜市菖蒲町三箇 ⇨ 三須医院	161
久喜市菖蒲町三箇 ⇨ 宮嶋整形外科	160
久喜市菖蒲町新堀 ⇨ 三須医院	153
久喜市菖蒲町三箇 ⇨ モラージュ菖蒲	151
久喜市菖蒲町小林 ⇨ 三須医院	124
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 岩崎医院	104
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 山崎整形外科	100
久喜市菖蒲町下栢間 ⇨ 三須医院	98
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 重城泌尿器科クリニック	92
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 新久喜総合病院	92
久喜市菖蒲町下栢間 ⇨ しょうぶの里ゆとり野サービスセンター	80
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 南彩農業協同組合菖蒲グリーンセンター	75
久喜市菖蒲町小林 ⇨ しょうぶ会館	74
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ 菖蒲行政センター	68
久喜市菖蒲町菖蒲 ⇨ しょうぶ会館	66
久喜市菖蒲町三箇 ⇨ 岩崎医院	66
久喜市菖蒲町上栢間 ⇨ 久喜市商工会菖蒲支所・労働会館（あやめ会館）	63
久喜市菖蒲町下栢間 ⇨ モラージュ菖蒲	61
久喜市菖蒲町三箇 ⇨ 新久喜総合病院	58
久喜市菖蒲町新堀 ⇨ モラージュ菖蒲	55
久喜市菖蒲町新堀 ⇨ ヤオコー久喜菖蒲店	53
久喜市菖蒲町上栢間 ⇨ モラージュ菖蒲	52
久喜市菖蒲町新堀 ⇨ 岩崎医院	52
久喜市菖蒲町下栢間 ⇨ しょうぶ翔裕園	51
久喜市菖蒲町下栢間 ⇨ ヤオコー久喜菖蒲店	51
久喜市菖蒲町三箇 ⇨ フォレオ菖蒲	50
久喜市菖蒲町下栢間 ⇨ 新久喜総合病院	50

出典：令和6（2024）年度実績（久喜市）

(3) くきふれあいタクシー（補助タク）の利用状況

地区別のくきふれあいタクシー（補助タク）の年間利用者数の推移をみると、いずれの地区も令和5（2023）年度まで増加傾向にあり、特に久喜地区の増加傾向が顕著であったが、令和6（2024）年度は栗橋地区以外の地区で減少している。



出典：くきふれあいタクシー（補助タク）の利用状況（久喜市）

図-24 くきふれあいタクシー（補助タク）の年間利用者数の推移

3. 現状分析

(1) 公共交通圏域（デマンド交通（くきまる）を除く）と人口分布による分析

○久喜市内の一部で公共交通空白地域が存在している。

鉄道駅から半径1,000m、路線バスとコミュニティバス（市内循環バス）のバス停から半径300mを公共交通が徒歩で利用できる公共交通圏域とし、250mメッシュ人口に重ねた。鷲宮駅と東鷲宮駅の北東側と栗橋駅の南側、南栗橋駅の南側、菖蒲地区・久喜地区内で公共交通圏域の外に一定の人口集積が散見される。

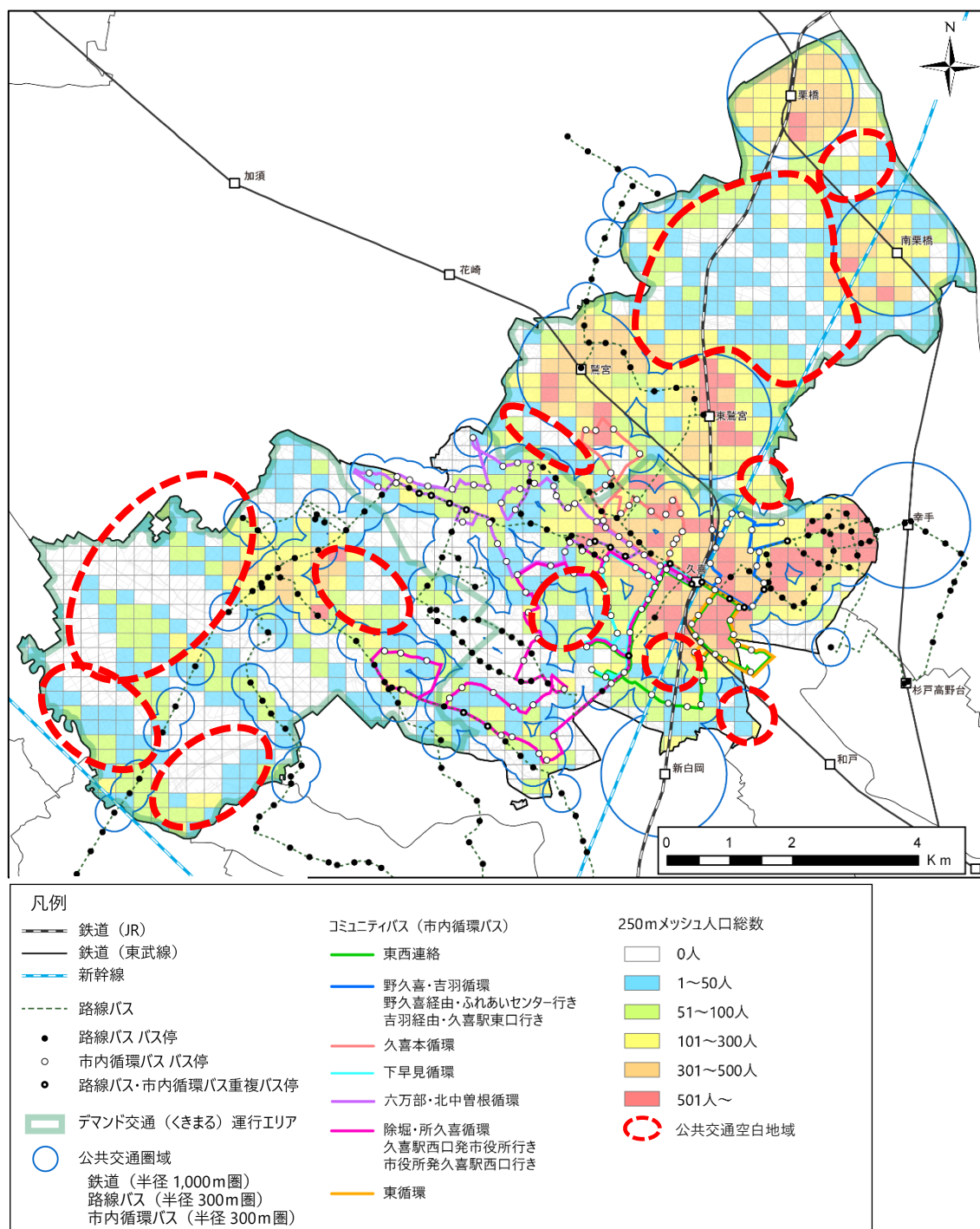


図-25 公共交通網と250mメッシュ人口

〈久喜地区における公共交通空白地域の現状〉

コミュニティバス（市内循環バス）の範囲をみると、公共交通空白地域に人口の集積がみられるものの、建物の分布の状況からは密度は低く、公共交通空白地域の人口は多くないと考えられる。

- ①江面・西前谷・東前谷・小谷：居住地がみられるが散在している
- ②南2丁目・久喜東6丁目：居住地の集まりがみられる
- ③須郷：居住地がほとんどみられない

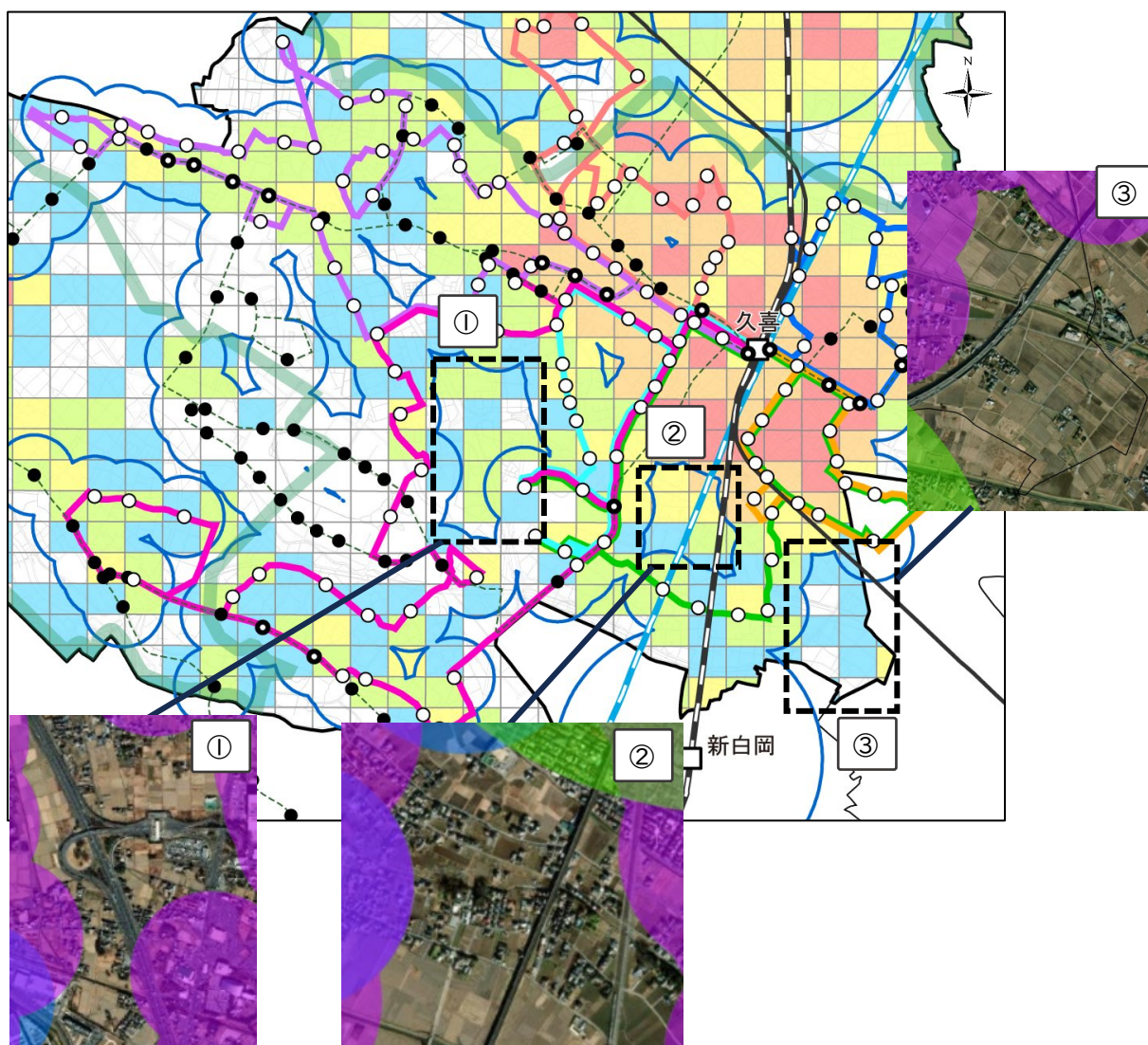


図-26 公共交通網と250mメッシュ人口

(2) アクセス性確保における分析

○市内の新たな拠点・施設へのアクセスが確保されていない。

菖蒲地区および栗橋、鷺宮地区においては、公共交通圏域に含まれない施設が存在するものの、久喜駅へのアクセスは鉄道や路線バスを乗り継ぐことで、一定の利便性は確保されている。一方で、市内の新たな拠点・施設へのアクセス性の確保が求められる。

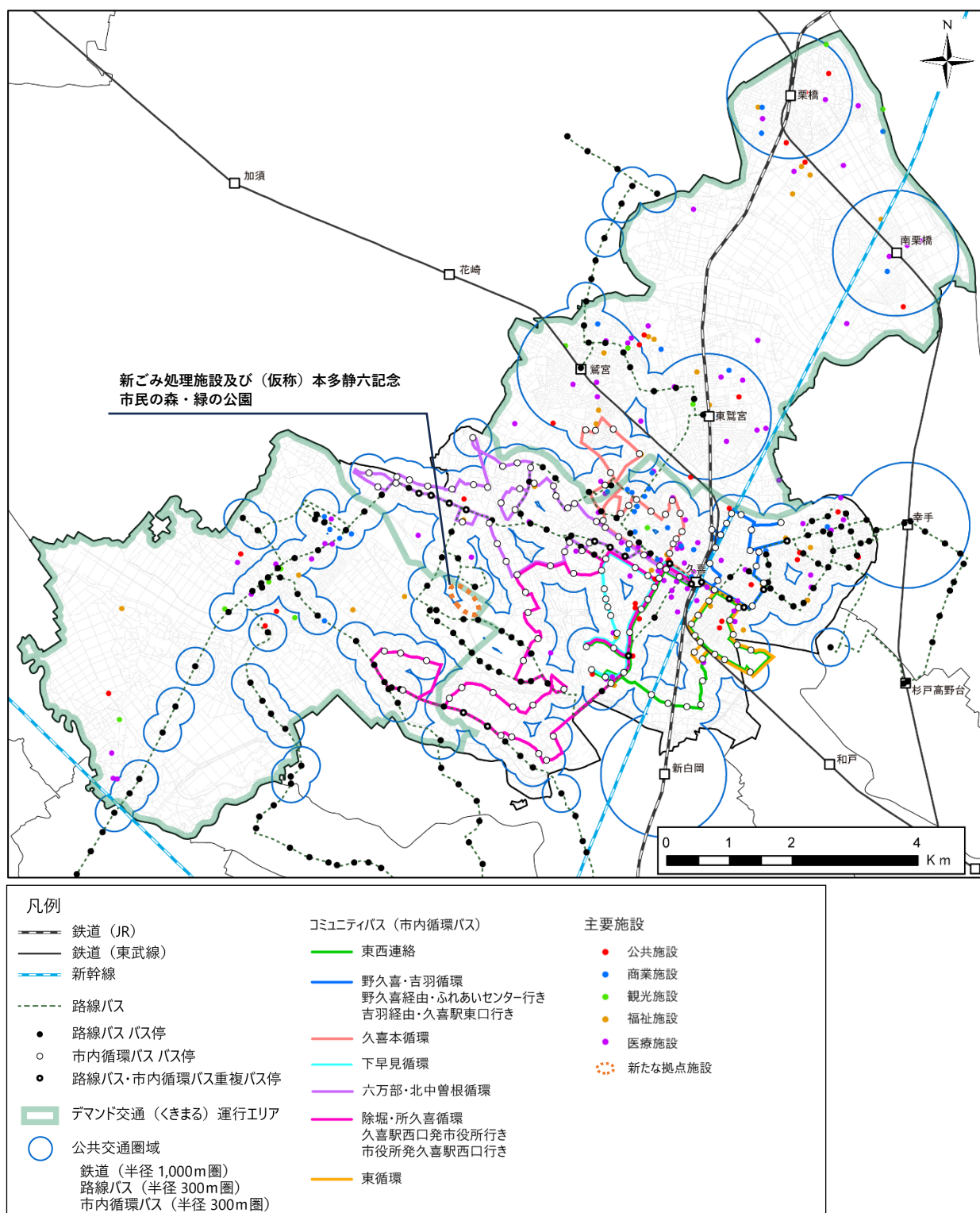


図-27 主要施設分布

(3) 利用状況からの分析

- 鉄道西側で駅から離れたバス停は利用者が少ない。
- 1日あたりの平均乗降者数が1人未満のバス停が多くみられる。

コミュニティバス（市内循環バス）の六万部・北中曽根循環および除堀・所久喜循環のバス停のうち、路線バスと重複している区間やデマンド交通（くきまる）の運行区域に含まれている箇所は1日あたりの平均乗降者数1人未満が多くみられる。

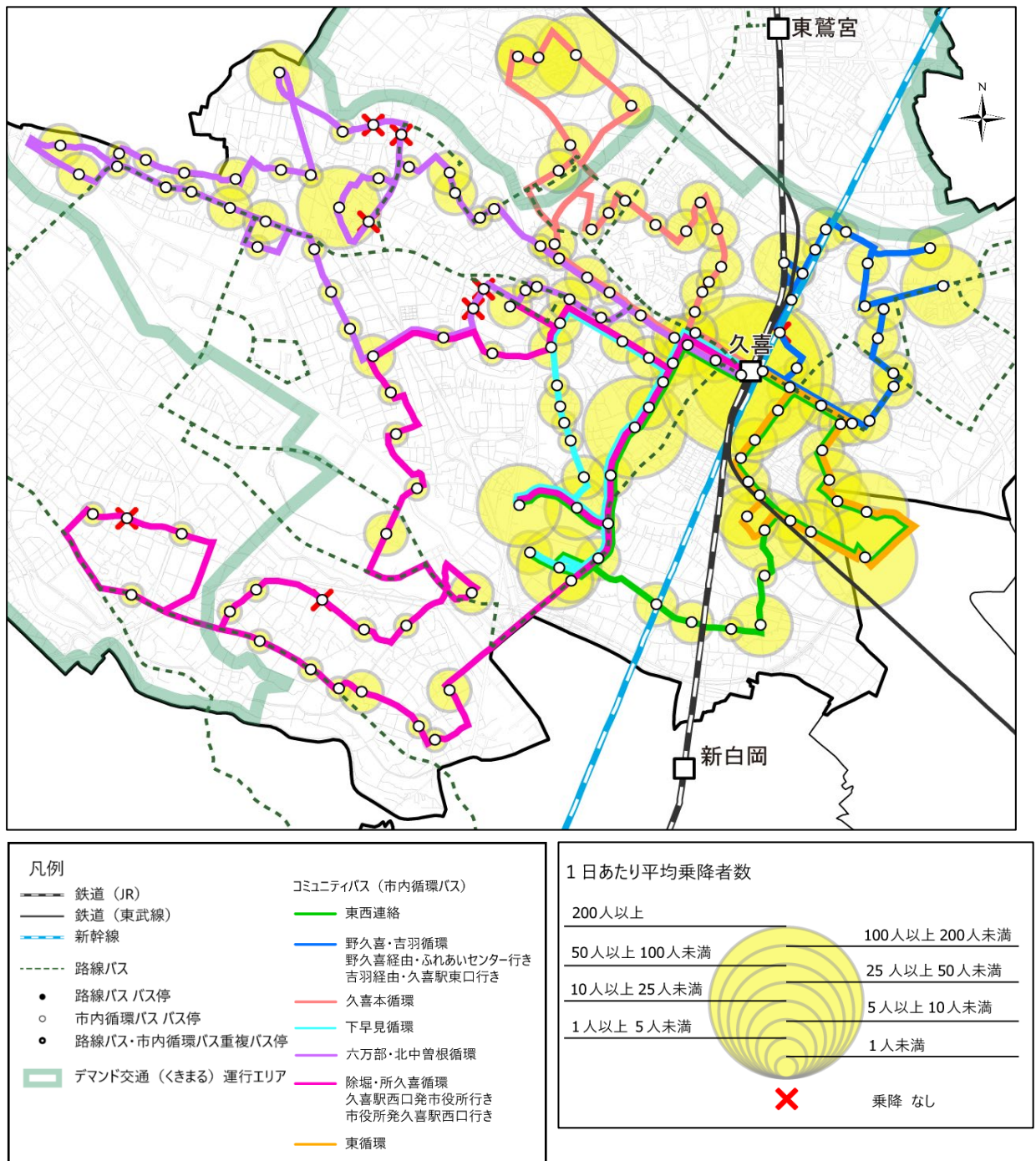


図-28 バス停別1日あたりの平均乗降者数

(4) 路線分析

1) 路線バスとの競合

○鉄道西側で駅から離れた利用が少ないバス停周辺で路線バスとの重複区間が存在している。

コミュニティバス（市内循環バス）の、六万部・北中曽根循環及び除堀・所久喜循環において、路線バスとの重複区間が存在しており、この区間のバス停は1日あたりの平均乗降者数が5人未満である。また、久喜駅周辺などでも重複区間が点在している。

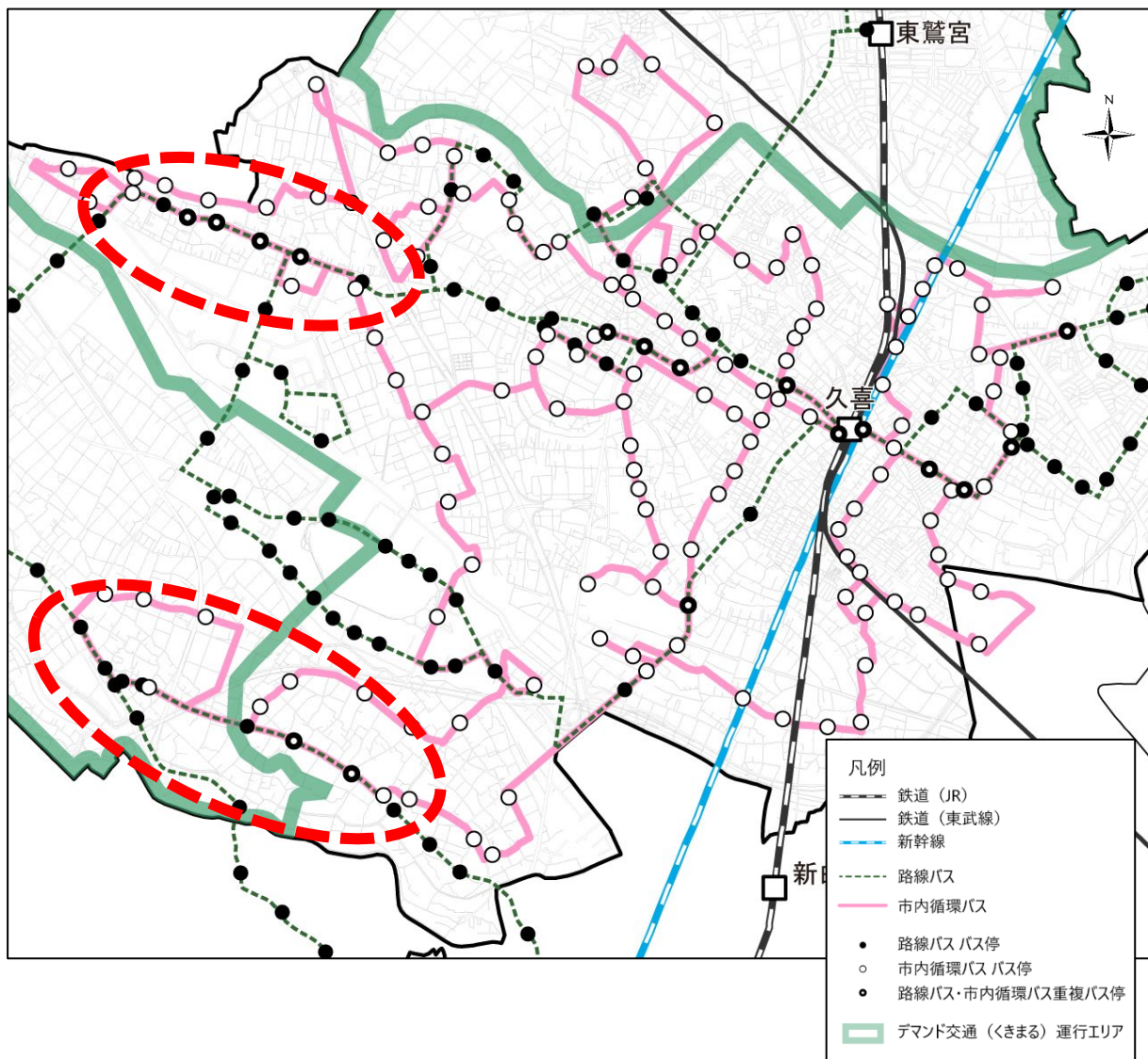
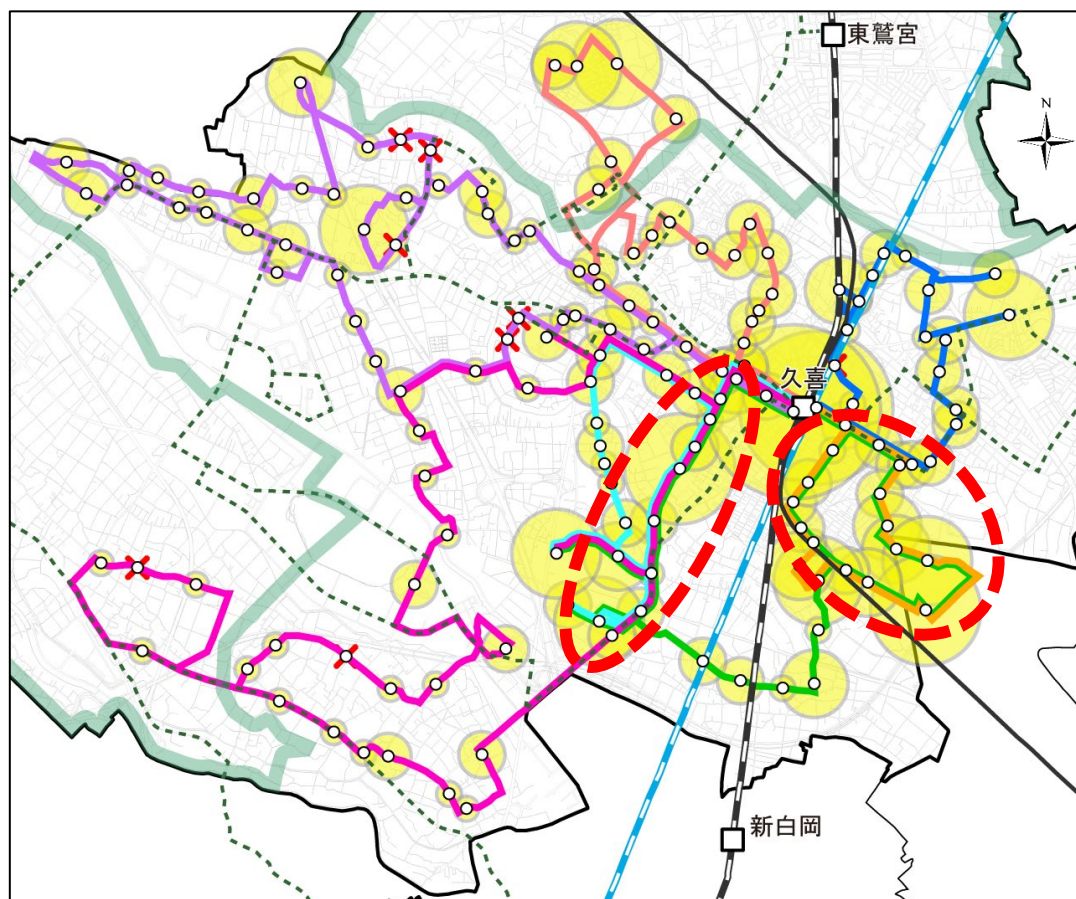


図-29 路線バスとコミュニティバス（市内循環バス）の重複区間

2) コミュニティバス（市内循環バス）の運行経路分析

- 久喜駅周辺でコミュニティバス（市内循環バス）の重複区間が存在している。
- 1運行あたりの所要時間が長い系統が存在している。

久喜駅の西側と東側で運行経路が重複している系統がみられ、重複区間内のバス停では多くの乗降が集中している。



コミュニティバス（市内循環バス）		1日あたり平均乗降者数		系統名		所要時間 (分)
東西連絡		200人以上	100人以上 200人未満	東西連絡	東行き	32
野久喜・吉羽循環		50人以上 100人未満	25人以上 50人未満		西行き	28
久喜本循環		10人以上 25人未満	5人以上 10人未満	野久喜・吉羽循環		25
下早見循環		1人以上 5人未満	1人未満			12
六万部・北中曽根循環						10
除堀・所久喜循環				久喜本循環	右回り	35
久喜駅西口発市役所行き					左回り	35
市役所発久喜駅西口行き				下早見循環	右回り	25
東循環					左回り	25
				六万部・北中曽根循環		57
				除堀・所久喜循環		85
				東循環		6
						6
						15

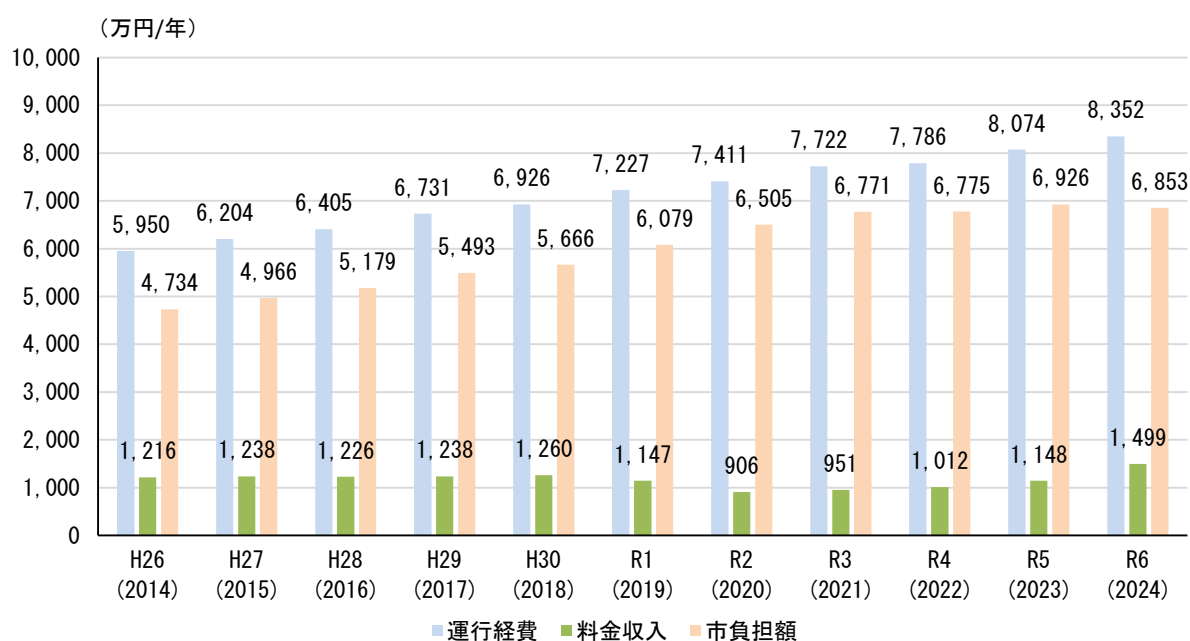
図-30 コミュニティバス（市内循環バス）路線図

(5) 事業分析

1) コミュニティバス（市内循環バス）の収支状況

○運行コストの上昇等に伴い財政負担が増加している。

運行経費は、過去 10 年間で年間 5,950 万円から年間 8,352 万円に 2,402 万円(40.4%) 増加し、料金収入は、過去 10 年間で、年間 1,216 万円から年間 1,499 万円に 283 万円 (23.3%) 増加している。市の負担額は年間 4,734 万円から年間 6,853 万円に 2,119 万円 (44.8%) 増加している。



出典：コミュニティバス（市内循環バス）年度別運行経費（久喜市）

図-31 コミュニティバス（市内循環バス）の収支状況の推移

2) 運行主体の事業状況

○運転手不足等により事業経営が厳しい状況にある。

路線バス事業者アンケート調査結果から、バス利用者の減少（6～8%減）、運転手の退職者の増加、運行経費の上昇など、厳しい事業状況が伺え、減便や路線の見直し等が考えられている状況である。

表-13 民間バス会社の現状

	朝日自動車 株式会社	中田商会 株式会社	大和観光自動車 株式会社
1. バス利用者減少	○（6%減少）	—	○（8.26%減少）
2. 運転手退職者増加	—	○	—
3. 運行経費上昇	○	○	— （0.83%上昇）
4. 路線、本数等見直し	○	○ 土日祝日本数を48 便から36便に減便	—

表中の数値は、令和元（2019）年4月と令和5（2023）年4月の比較

出典：久喜市地域公共交通計画 民間バス事業者アンケート結果

(6) その他

○コミュニティバス（市内循環バス）の見直しにあわせたデマンド交通（くきまる）の運行区域等の再検討が必要となる。

コミュニティバス（市内循環バス）は、鉄道及び路線バスを補完する支線交通として主に久喜地区を運行しており、久喜地区以外でデマンド交通（くきまる）を運行している。

さらに、市全域で、くきふれあいタクシー（補助タク）を実施しており、これらの運行により公共交通空白地域の解消が図られている。

コミュニティバス（市内循環バス）とデマンド交通（くきまる）は、相関関係にあるため、コミュニティバス（市内循環バス）の見直しにより、デマンド交通（くきまる）の運行サービスへの影響が生じることとなる。